

PROJECTION CANVAS

ファーストステップガイド

NIXUS
passion for innovation

日興通信株式会社
1.4 版(2020/06)

目 次

1. はじめに	5
1.1. Pro と Lite の 2 つのバージョンについて	5
2. 準備するもの	6
2.1. パソコン	6
2.2. プロジェクター	6
2.3. オブジェクト	6
2.4. 素材	6
2.5. ネットワーク 	7
3. インストールしてみましょう	8
3.1. インストーラディスク読み込み	8
3.2. インストールメニュー	8
3.3. QuickTime インストール	9
3.4. .NET Framework 4.5(ドットネット フレームワーク)インストール	10
3.5. Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable(x86)インストール	11
3.6. Projection Canvas インストール	12
4. ライセンス認証	14
5. 準備	16
5.1. パソコンとプロジェクターの接続	16
5.1.1. PC のディスプレイ設定	17
5.2. オブジェクトの準備	19
5.3. 投影する素材の準備	20
5.3.1. サンプル素材の保存場所	20
5.4. 外部カメラ準備と接続(必要に応じて)	21
6. プロジェクトサンプルを投影してみましょう	22
7. プロジェクトを新規作成してみましょう	24
7.1. プロジェクト作成	24
8. 画面	26
8.1. プレビューウィンドウ	26
8.1.1. FACE	27
8.1.2. ガイド	27
8.1.3. 丸ポイント	27
8.1.4. 四角ポイント	28
8.1.5. ガイドの複数選択	28
8.1.6. ガイドの頂点を直角にする	29
8.1.7. ガイドの重なり順	29
8.2. タイムラインウィンドウ	29
8.2.1. メニュー	29
8.2.1.1. ファイルメニュー	30
8.2.1.2. 編集メニュー	31
8.2.1.3. 表示メニュー	32
8.2.1.4. コントロールメニュー	33
8.2.1.5. リモートメニュー 	33
8.2.1.6. 設定メニュー	35
8.2.1.7. ヘルプメニュー	38
8.2.2. タイムライン	39
8.2.2.1. タイムラインでの右クリックメニュー	41

8.2.2.2. 縮尺	44
8.2.3. コントロール	44
8.3. 設定ウィンドウ	45
8.3.1. プロパティ	45
8.3.2. エフェクト	48
8.3.3. フィルター 	49
9. 操作手順	50
9.1. ITEM を追加する	50
9.2. 【ITEM】の長さを調整する	51
9.3. オブジェクトに映像を合わせる	52
9.4. 再生する	53
9.5. プロジェクトを保存しましょう	54
10. 操作手順(応用)	54
10.1. 【ITEM】を前に詰める	54
10.2. 【ITEM】の分割	55
10.3. 【ITEM】の複製	56
10.4. 【ITEM】のリンク作成	56
10.5. 【FACE】の表示位置をコピーする	57
10.6. タイムラインの表示縮尺を変更する	58
10.7. プロジェクトのデータを移行する	59
10.7.1. パッケージを作成する	59
10.8. パッケージを展開する	60
10.9. エフェクトを適用する	62
10.10. フィルターを適用する 	64
10.11. 画像マスクを適用する 	65
10.12. 画像マスクについて	65
10.12.1. 画像マスクの適用方法	65
10.13. リモート接続する 	67
10.13.1. 親機の準備	68
10.13.2. 子機の準備	69
10.13.3. 親機に接続する	70
10.13.4. 一斉に再生する	71
10.13.5. リモート接続解除	72
10.14. ITEM を 2 つの FACE に跨ったように表示させる	72
10.15. 【ITEM】を他のプロジェクトにコピー&ペーストする	74
11. 一覧	75
11.1. マウスカーソルの種類	75
11.2. エフェクトの長さ調整	75
11.3. フィルターの種類	75
11.4. ショートカットキー	76
12. 困ったときは	77
12.1. アンインストールしたい	77
12.2. ライセンス認証(アクティベーション)を解除したい	79
12.3. プレビューが画面いっぱいに表示され操作できない	80
12.4. 再生時に音が遅れる	80
12.5. 【リモコンソフト】に接続できない	80

12.6. 【プレビュー】ウィンドウが起動しない.....	81
12.7. プロジェクターに投影されない	81
13. 改訂履歴	82

1. はじめに

Projection Canvas(プロジェクションキャンバス)はプロジェクションマッピングをシンプルに実現するソフトウェアです。建物や物体、あるいは空間などに対して映像を映し出す、最新の CG 技術「プロジェクションマッピング」。近年、様々なイベントなどに用いられ人気を呼んでいます。

Projection Canvas は、これまで、3D ソフトなどを駆使して実現しなければならなかったプロジェクションマッピングを、投影するオブジェクトを立方体などの面に限定することで実現できます。

イベントやパーティー、学校、ご家庭など様々なシーンで、プロジェクションマッピングが身近になります。



このテキストは、操作の流れをご理解いただくため、簡単な操作手順を「まずは、やってみよう!」ということを目的に作成しました。

1.1. Pro と Lite の 2 つのバージョンについて

Projection Canvas には Pro と Lite の 2 つのバージョンがあります。このマニュアルでは、Pro のみの機能を説明する時、下記のアイコンを表示しています。



2. 準備するもの

Projection Canvas はソフトウェアです。Projection Canvas を使ってプロジェクションマッピングをするためには、パソコンやプロジェクター、投影するオブジェクトが必要です。

2.1. パソコン

Projection Canvas は動画を複数再生するなど、負荷の高い機能を持ったソフトウェアですので、スペックの高いものをご用意ください。



Projection Canvas 推奨環境	
OS	Windows8/Windows8.1/Windows10 ※Mac OS には対応しておりません。
CPU	Intel Corei7 2.8GHz/4 コア以上
メモリ	8GB 以上

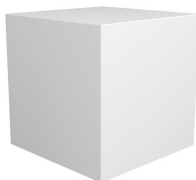
2.2. プロジェクター



必要なプロジェクターは、どれだけ大きなオブジェクトに投影するか、または、部屋の明るさなどにより最適なスペックが異なります。投影するオブジェクトが小さい場合、1000 ルーメン程度のプロジェクターで十分プロジェクションマッピングを楽しんでいただけます。

大きなオブジェクトや部屋の壁一面に投影する場合など、10000 ルーメン以上のプロジェクターが必要になる場合があります。

2.3. オブジェクト



Projection Canvas は建物や複雑なオブジェクトに投影するのではなく、立方体のような平面に対して投影を行います。上図のようなオブジェクトがあると、サンプルプロジェクトを活かした多彩なマッピングが楽しめます。

2.4. 素材

Projection Canvas は静止画や動画、音などで投影する映像を構成します。あらかじめいくつかのサンプル動画や静止画、音素材が揃っていますので、素材がなくても Projection Canvas を始めることができます。オリジナルの動画、静止画、音を使用したい場合は、事前に素材を準備してください。

推奨するファイル形式は下記の通りです。

推奨ファイル形式	
動画	MOV(H.264/768kbps/フレームサイズ 600×600px)
静止画	JPEG/PNG/BMP(サイズ 1920×1080px 以下)
音	MP3/WAV

2.5. ネットワーク Pro

ネットワークを使用して 4 台までの PC にインストールした Projection Canvas Pro を一斉に再生することができます。



ネットワーク機能を使用する場合は、全ての PC にローカル固定 IP を割り当てると良いでしょう。DHCP ネットワークの場合は、あらかじめ割り当てられている IP アドレスをメモしておく良いでしょう。

3. インストールしてみましょう

Projection Canvas は、専用のインストーラディスクからインストールを行います。パッケージに付属されているインストーラディスクをパソコンに読み込み、下記の操作を行ってください。

3.1. インストーラディスク読み込み

インストーラディスクをパソコンの光学ディスクドライブに挿入します。

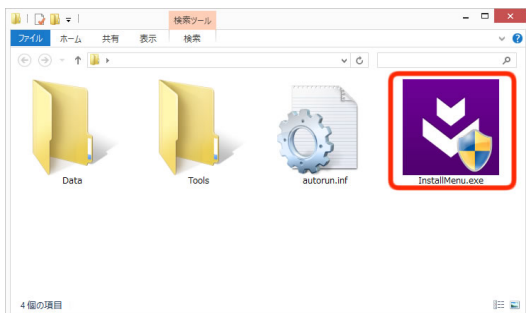


3.2. インストールメニュー

ディスクが読み込まれると自動的にインストールメニュー画面が表示されます。



インストールメニュー画面が表示されない場合は、ディスク内の【InstallMenu.exe】をクリックしてください。



インストールメニューの【インストール】ボタンをクリックし、インストールを実行してください。



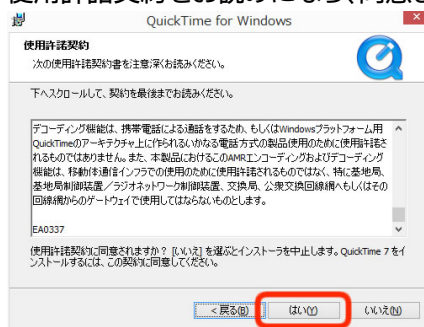
3.3. QuickTime インストール

QuickTime のインストーラが開きます。出荷時期によりバージョンが異なります。**QuickTime が既にインストールされている場合は、この手順はありません。**

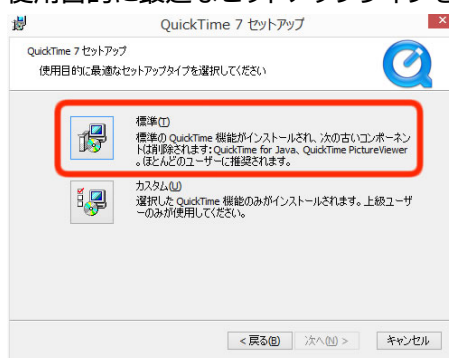
- ① 【次へ】ボタンを押します。



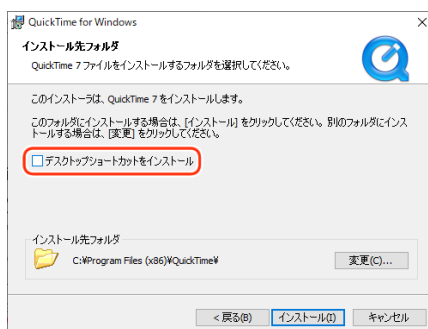
- ② 使用許諾契約をお読みになり、同意して頂き、【はい】ボタンをクリックしてください。



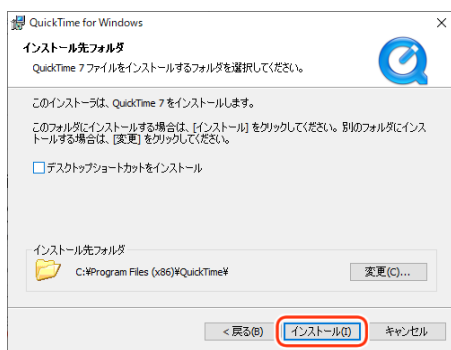
- ③ 使用目的に最適なセットアップタイプを選択してください。今回は【標準】を選択します。



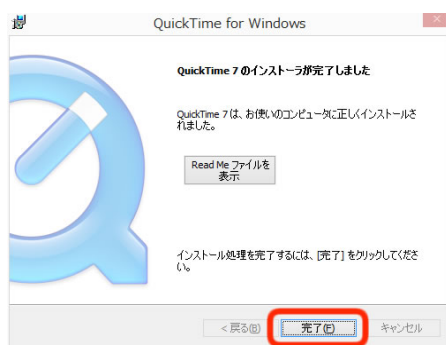
- ④ 【デスクトップショートカットをインストール】のチェックを外してください。Projection Canvas を使用する上では、QuickTime のショートカットは必要ありませんが、ご使用になる場合はチェックを付けたままにしてください。



⑤ 【インストール】ボタンをクリックしてください。



⑥ 【完了】ボタンをクリックしてください。



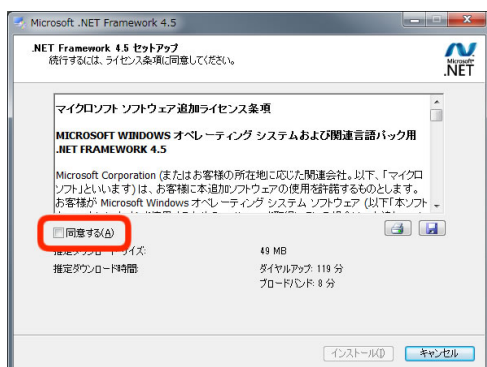
⑦ 下記のような画面が表示された場合、【購入しない】をクリックしてください。



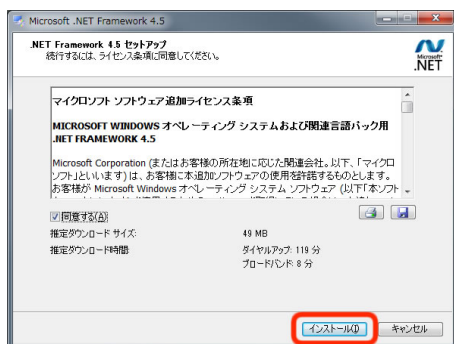
3.4. .NET Framework 4.5(ドットネット フレームワーク)インストール

.NET Framework 4.5 のインストーラが開きます。出荷時期によりバージョンが異なります。**.NET Framework 4.5** が既にインストールされている場合は、この手順はありません。

① ライセンス条項をお読みになり、同意して頂き、【同意する】にチェックを入れてください。



- ② 【インストール】ボタンをクリックしてください。



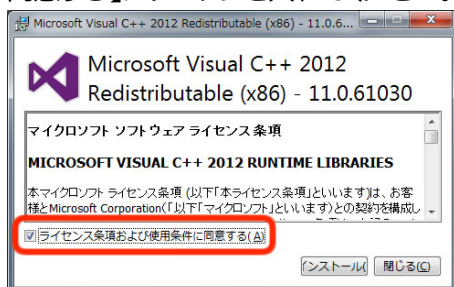
- ③ 【完了】ボタンをクリックしてください。



3.5. Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable(x86)インストール

Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable(x86)のインストーラが開きます。出荷時期によりバージョンが異なります。

- ① ライセンス条項および使用条件をお読みになり、同意して頂き、【ライセンス条項および使用条件に同意する】にチェックを入れてください。



Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable(x86)インストールが既にインストールされている場合は下図のように表示されますので【修復】ボタンをクリックしてください。



修復が終わると【再起動】ボタンが表示されますが、ここではまだ再起動せず【閉じる】ボタンをクリックして次項へ進んでください。



- ② 【インストール】ボタンをクリックしてください。

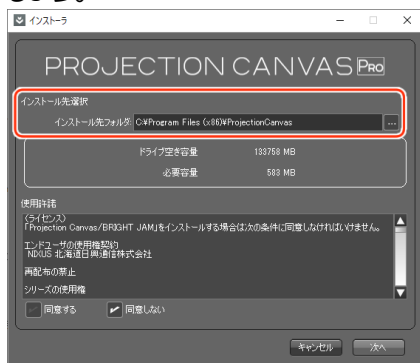


- ③ セットアップが完了したら、【閉じる】ボタンをクリックしてください。

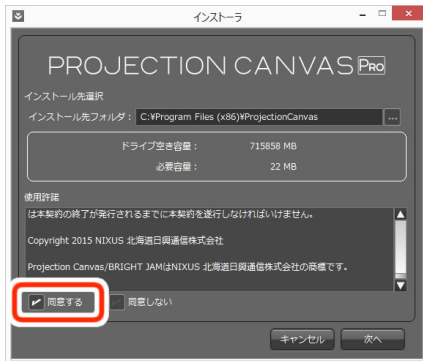


3.6. Projection Canvas インストール

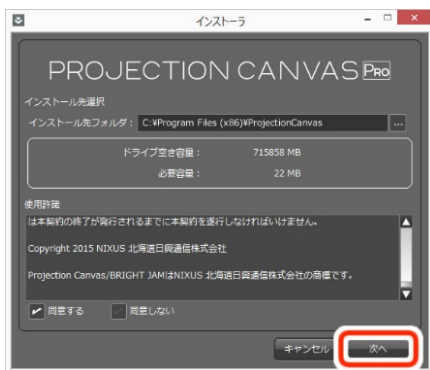
- ① インストール先を設定します。デフォルトでは C:\Program Files (x86)\ProjectionCanvas と表示されています。インストール先を変更したい場合は、任意で変更してください。通常は、このままで良いでしょう。



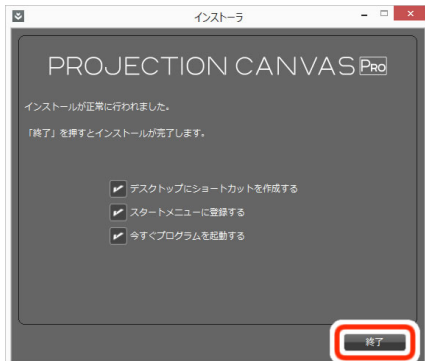
- ② 使用許諾をお読みになり、同意して頂き、【同意する】にチェックを入れてください。



- ③ 【次へ】ボタンをクリックしてください。



- ④ 【終了】ボタンをクリックしてください。



以上でインストールは完了です。

4. ライセンス認証

Projection Canvas は起動するために、初回のみアクティベーションが必要です。アクティベーションとは、ソフトウェアをインストールした後、正規のライセンスを保持していることを確認するための作業です。

- ① インストール時に、【今すぐプログラムを起動する】にチェックを入れていた場合は、【ライセンス認証】ウィンドウが表示されます。



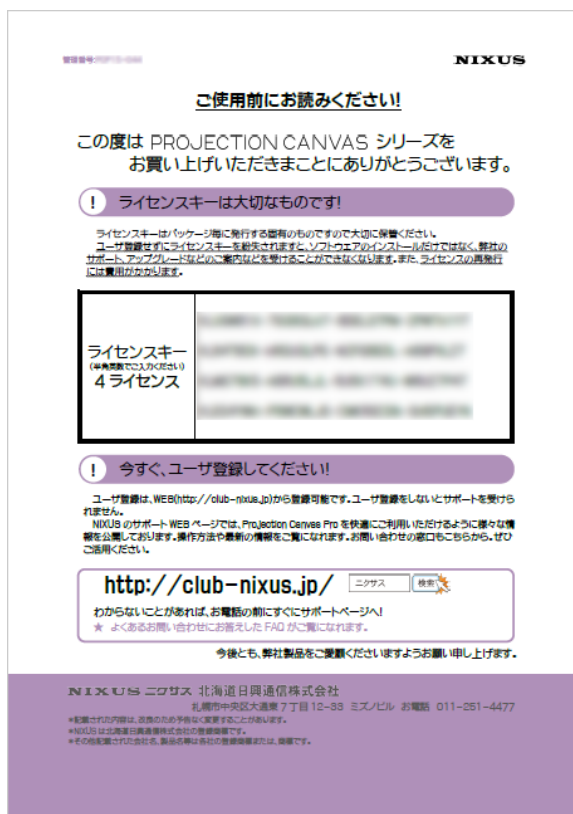
表示されていない場合は、Projection Canvas を起動してください。



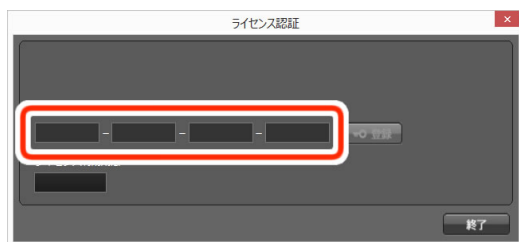
- ② ご利用のパソコンをインターネットに接続してください。

※ライセンス認証には、PC の LAN ポートもしくは PC 内蔵の無線 LAN によるインターネット接続が必要です。USB 接続の機器でインターネット接続した場合、USB 接続の機器を PC から外しますとライセンス認証ができなくなります。(例: LAN アダプタ、ポケット Wi-Fi、携帯/スマートフォンのテザリング)

- ③ お手元にライセンス番号が書かれた用紙をご用意ください。ソフトウェアを起動する際に、ライセンスの登録が必要です。ライセンス番号が書かれた用紙は、パッケージ内に同梱されています。



- ④ ライセンスを入力します。ライセンス番号を半角英数字で入力します。



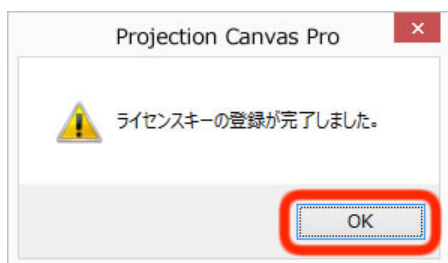
- ⑤ 【登録】ボタンをクリックします。



- ⑥ 【はい】ボタンをクリックします。



- ⑦ 【OK】ボタンをクリックします。



- ⑧ アクティベーションが完了すると製品名が上部に表示されます。【終了】ボタンをクリックします。



ソフトが起動します。

このまま Projection Canvas を使用することも可能ですが、正常に動作しない場合がございますので、一度 Projection Canvas を終了し、PC を再起動してください。

5. 準備

パソコンとプロジェクターを接続し、オブジェクトを設置しましょう。また、映し出す映像にオリジナルの素材を使用したい場合は、事前に準備しましょう。

5.1. パソコンとプロジェクターの接続

パソコンとプロジェクターを接続しましょう。映像の投影、オブジェクトに映像を合わせこむ際に使用します。



5.1.1. PC のディスプレイ設定

PC にプロジェクターを接続し、ディスプレイ設定を行ってください。

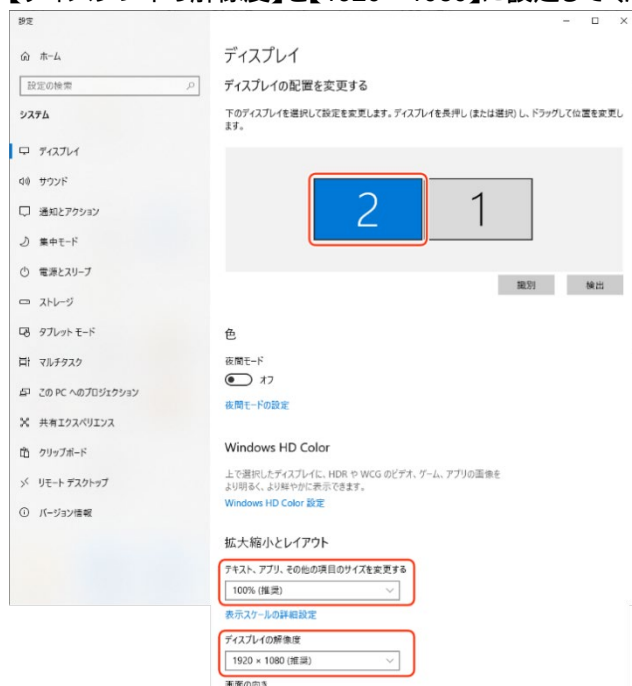
- ① デスクトップで右クリックしてください。右クリックメニューより【ディスプレイ設定】を選択してください。



- ② PC の画面を選択(【識別】ボタンをクリックし、PC 側に出た数字が PC の画面になります)し、
【拡大縮小とレイアウト】の【テキスト、アプリ、その他の項目サイズを変更する】を【100%】
【ディスプレイの解像度】を【1920×1080】
【マルチ ディスプレイ】の【複数のディスプレイ】を【表示画面を拡張する】
【これをメイン ディスプレイにする】にチェックが入っていない場合は、チェックを入れてください。



- ③ プロジェクターの画面を選択し、
【拡大縮小とレイアウト】の【テキスト、アプリ、その他の項目サイズを変更する】を【100%】
【ディスプレイの解像度】を【1920×1080】に設定してください。



「ディスプレイの設定を維持しますか?」と出た場合は、【変更の維持】ボタンをクリックしてください。



以上の設定が完了しましたら、右上の【×】ボタンをクリックし、ディスプレイ設定を閉じてください。ディスプレイ設定を閉じたら、PC を再起動してください。



5.2. オブジェクトの準備

投影するオブジェクトを準備しましょう。設置する際に、オブジェクト全体にプロジェクターの映像が投影されていることを確認してください。



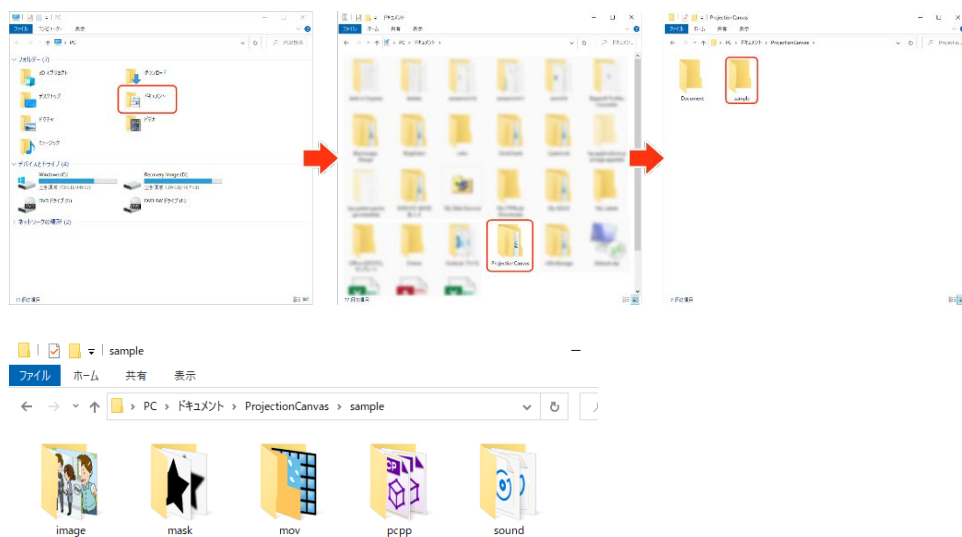
5.3. 投影する素材の準備

Projection Canvas には、あらかじめいくつかサンプルの動画や静止画、音素材が用意されていますので、オリジナルの素材がなくてもプロジェクションマッピングを始めることができます。オリジナルの動画や静止画、音を使用したい場合は、事前に素材を準備してください。



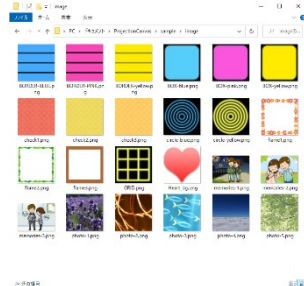
5.3.1. サンプル素材の保存場所

C:\¥Users¥ユーザ名¥Documents¥ProjectionCanvas¥sample



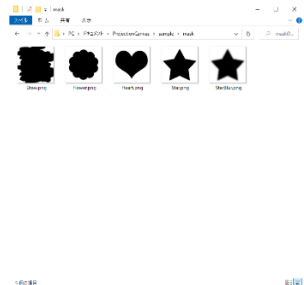
「image」フォルダ

画像素材をいくつか揃えています。



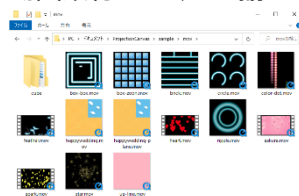
「mask」フォルダ **Pro**

画像マスク素材をいくつか揃えています。



「mov」フォルダ

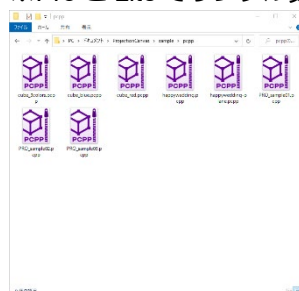
動画素材をいくつか揃えています。



「pcpp」フォルダ

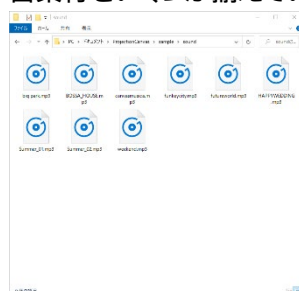
プロジェクトサンプルをいくつか揃えています。まずはこちらを開いてお試しください。

※Pro と Lite でサンプル数が違います。



「sound」フォルダ

音素材をいくつか揃えています。



5.4. 外部カメラ準備と接続(必要に応じて)

Projection Canvas にはパソコンの内蔵カメラや接続された外部カメラを読み込む機能があります。USB 接続カメラなどの映像を読み込む場合、事前に接続しておく方が良いでしょう。



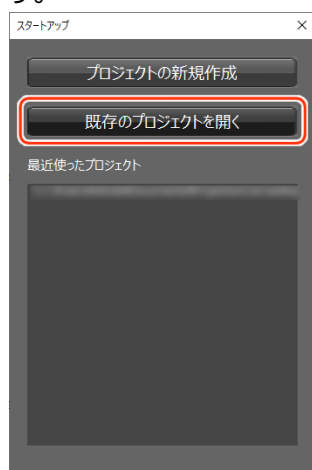
6. プロジェクトサンプルを投影してみましょう

プロジェクトサンプルがいくつかありますので、それを投影してみましょう。

- ① デスクトップにある Projection Canvas のショートカットアイコンをダブルクリックして、Projection Canvas を起動します。

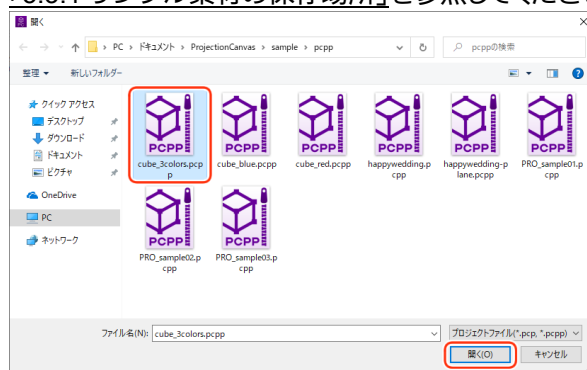


- ② 【スタートアップ】ウィンドウが表示されますので、【既存のプロジェクトを開く】ボタンをクリックします。

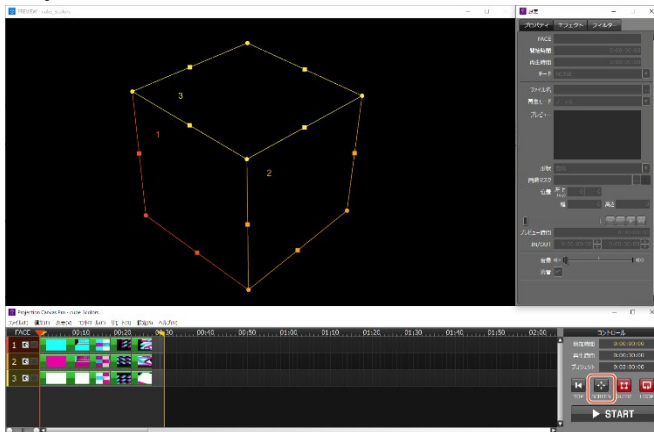


- ③ ファイル選択のダイアログが表示されますので、どれかファイルを選択して【開く】ボタンをクリックしてください。

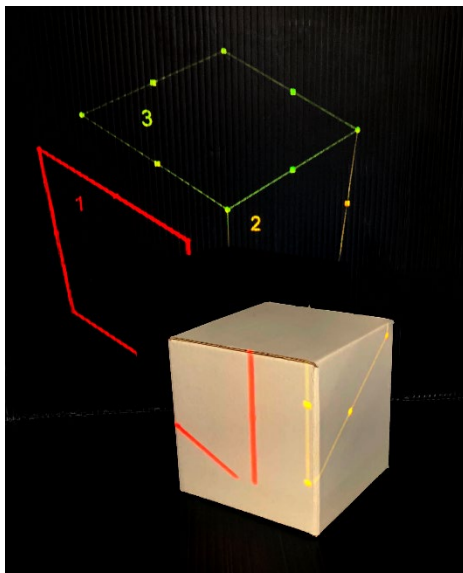
※インストール直後はサンプルが保存されたフォルダが選択されていますが、他のフォルダに変更した場合、自動ではサンプルフォルダを開きません。サンプルが保存されているフォルダについては、[「5.3.1 サンプル素材の保存場所」](#)を参照してください。



- ④ Projection Canvas が起動したら、「コントロール」にある【SCREEN】ボタンをクリックしてください。



- ⑤ 【PREVIEW】ウィンドウの黒い部分のみがプロジェクターに投影できましたら、正常に使用できている状態です。四角い枠を動かしてオブジェクトに合わせてみましょう。



- ⑥ オブジェクトに合わせたら、「コントロール」の【START】ボタンをクリックして再生します。

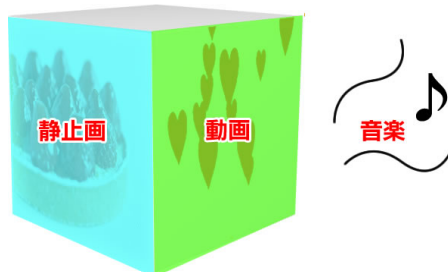


サンプルを再生して、動きがカクついたり止まったりする場合は PC のスペックが満たしていない可能性があります。推奨環境をご確認ください。

7. プロジェクトを新規作成してみましょう

プロジェクトを作成して、いくつかの素材をタイムライン上に並べてみましょう。

今回は、立方体を使用し、1つの面には静止画を、もう1つの面には動画を、最後に BGM を付けたプロジェクトを作成して、実際に投影してみます。



7.1. プロジェクト作成

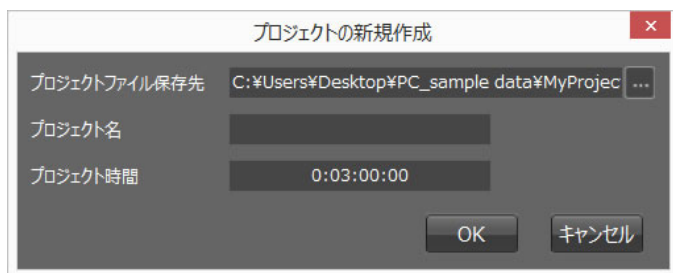
- ① 【スタートアップ】ウィンドウで、【プロジェクトの新規作成】ボタンをクリックします。



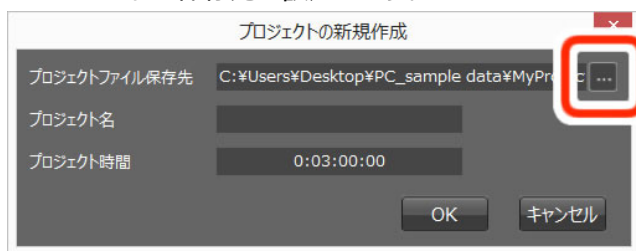
【スタートアップ】ウィンドウが表示されていない場合は、デスクトップの Projection Canvas アイコンをダブルクリックし、Projection Canvas を起動しましょう。



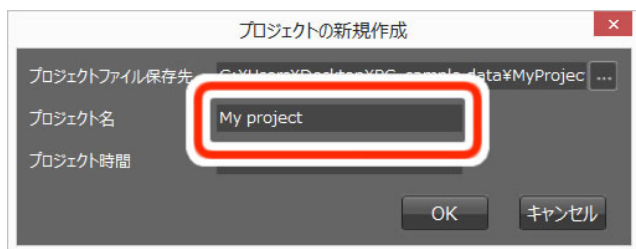
- ② 【プロジェクトの新規作成】ウィンドウが表示されます。



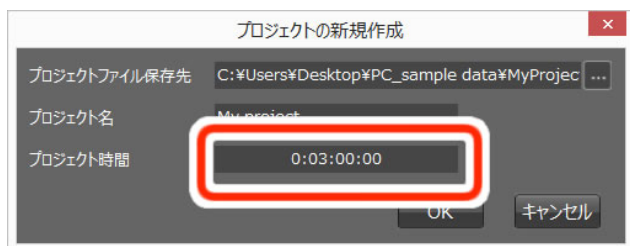
- ③ プロジェクトの保存先を設定します。



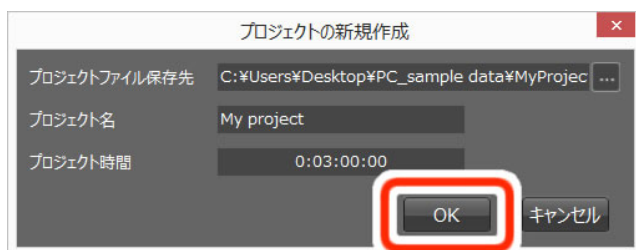
- ④ プロジェクト名を入力します。



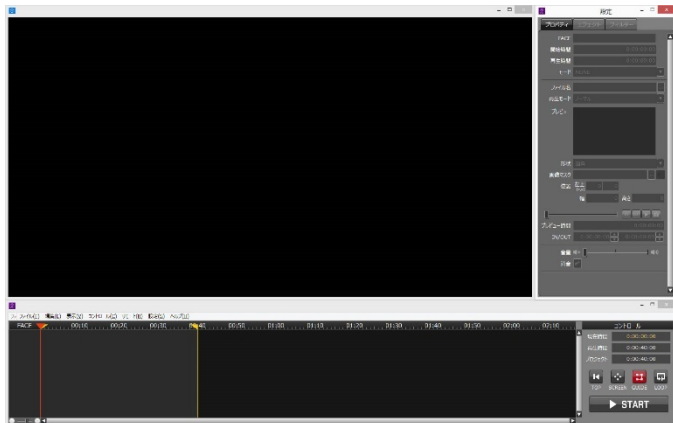
- ⑤ 作成するプロジェクトの時間を設定します。左から時間、分、秒、ミリセカンドとなっています。プロジェクト時間は、1 時間まで作成可能です。後から、変更もできます。



- ⑥ 【OK】ボタンをクリックします。



- ⑦ 下図のような画面が開きます。



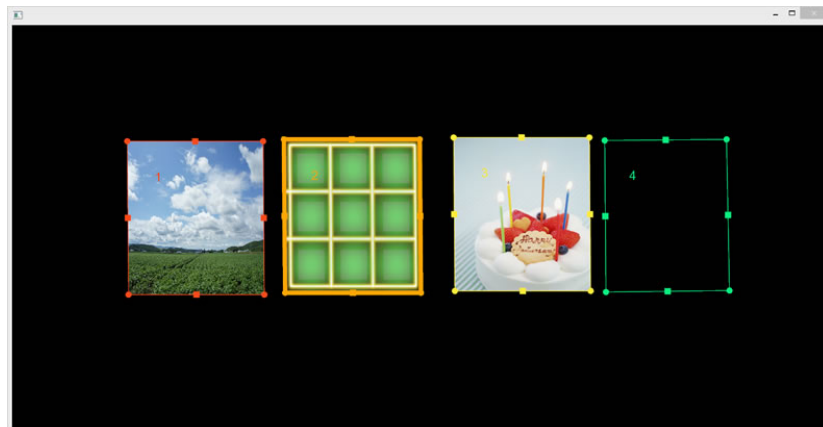
8. 画面

Projection Canvas は、【プレビュー】ウィンドウ、【タイムライン】ウィンドウ、【設定】ウィンドウの 3 つのウィンドウで構成されています。



8.1. プレビューウィンドウ

投影する映像を視覚的に確認します。表示された FACE の移動や拡大、縮小などができます。



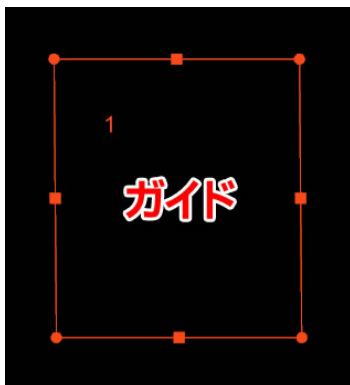
8.1.1. FACE

静止画、動画、音、カメラ素材を追加すると下記のような枠が【プレビュー】ウィンドウに追加されます。この枠を FACE(フェイス)といいます。左上に表示されている番号は FACE 番号です。



8.1.2. ガイド

FACE をオブジェクトに合わせこむ際に使用するポイントや辺を表します。ガイドには、丸と四角のポイントが表示されています。



8.1.3. 丸ポイント

丸いポイントは四隅の点を移動する際に使用します。



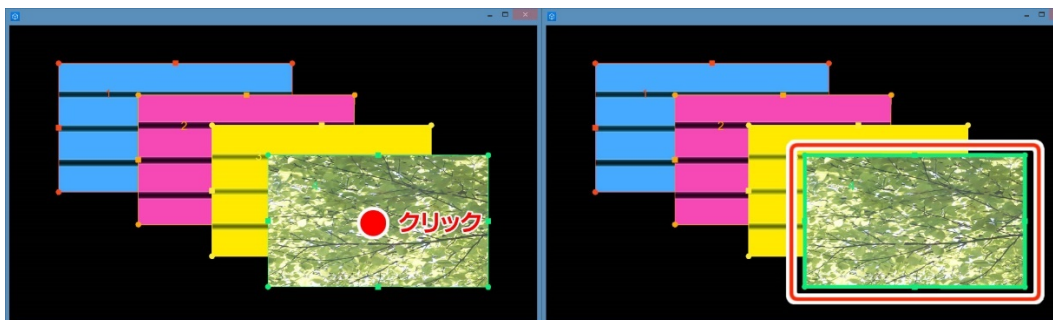
8.1.4. 四角ポイント

四角いポイントは辺を移動する際に使用します。



8.1.5. ガイドの複数選択

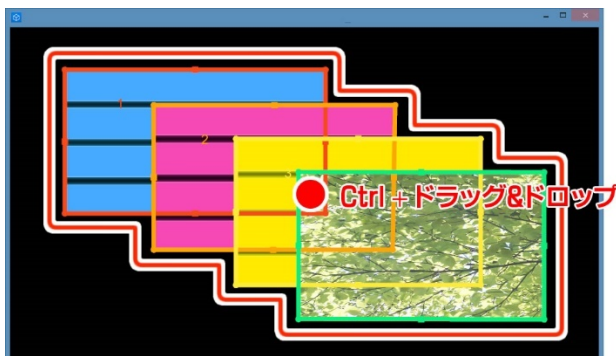
ガイドをクリックすると、最前面のガイドだけが選択されます。



ガイドが重なっている場所を、【Ctrl】キーを押しながらクリックします。重なっている複数のガイドを選択することができます。



また、重なっている複数のガイドを選択したまま移動する場合、再度【Ctrl】キーを押しながらドラッグ&ドロップすると複数のガイドを移動することができます。



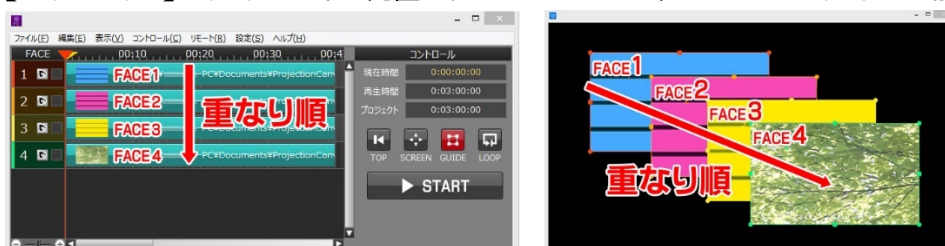
8.1.6. ガイドの頂点を直角にする

四隅の丸いポイントを、【Shift】キーを押しながらドラッグ&ドロップすると、直角に変形することができます。



8.1.7. ガイドの重なり順

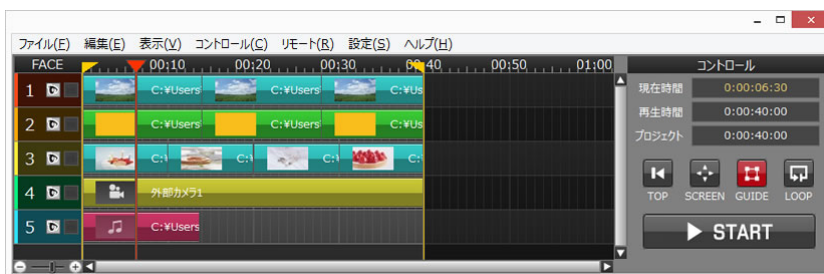
【タイムライン】ウィンドウで下に配置されている FACE が、プレビューウィンドウの前面に配置されます。



8.2. タイムラインウィンドウ

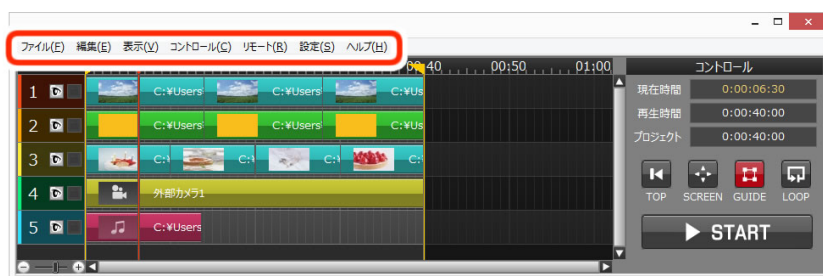
Projection Canvas のファイルの新規作成や保存など、様々な設定を行います。また、動画編集ソフトのようにタイムラインに並べた素材の長さ調整や順番を入れ替えることができます。

【タイムライン】ウィンドウのコントロールでは、プロジェクトの再生、時間表示、【プレビュー】ウィンドウでのガイドの表示設定などを行います。



8.2.1. メニュー

Projection Canvas の各種設定を行います。ファイル、編集、表示、コントロール、リモート、設定、ヘルプメニューがあります。



8.2.1.1. ファイルメニュー

ファイル(F)		
①	新規作成(N)	Ctrl+Shift+N
②	プロジェクトを開く(O)	Ctrl+Shift+O
③	保存(S)	Ctrl+S
④	別名で保存(A)	
⑤	プロジェクトを閉じる(C)	
⑥	パッケージを作成(P)	
⑦	パッケージを展開(I)	
⑧	アプリケーションの終了(X)	

- ① 新規作成
プロジェクトを新規に作成します。
- ② プロジェクトを開く
既存のプロジェクトを開きます。
- ③ 保存
開いているプロジェクトを上書き保存します。
- ④ 別名で保存
別の名称を設定して、新たにプロジェクトファイルを作成して保存します。
- ⑤ プロジェクトを閉じる
開いているプロジェクトを閉じます。
- ⑥ パッケージを作成
保存したプロジェクトに使用されている素材を収集して、プロジェクトの圧縮ファイルを作成します。パッケージ化は、プロジェクトに使用されている素材を簡単に揃えることができ、他のパソコンで同様のプロジェクトを開く場合に便利です。別名で保存する場合は、パッケージを展開してください。
- ⑦ パッケージを展開
作成したパッケージファイルを展開します。展開されたデータは使用されているプロジェクトファイルと素材データに分けられます。パッケージデータから素材データを取り出す、またはパッケージデータを別名で保存する際に便利です。
- ⑧ アプリケーションの終了
Projection Canvas を終了します。

8.2.1.2. 編集メニュー

編集(E)		
①	元に戻す(U)	Ctrl+Z
②	やり直し(R)	Ctrl+Y
③	FACE追加(A)	Ctrl+A
④	コピー(C)	Ctrl+C
⑤	選択ITEM全削除(D)	Delete
⑥	前に詰める(F)	Ctrl+←
⑦	後ろに詰める(B)	Ctrl+→
⑧	分割(K)	Ctrl+K
⑨	IN点設定(I)	Ctrl+I
⑩	OUT点設定(O)	Ctrl+O
⑪	整列	▶

- ① 元に戻す
直前の操作を取り消します。
- ② やり直し
元に戻した操作を再実行します。
- ③ FACE 追加
FACE を追加します。
- ④ コピー
選択している ITEM をコピーします。
- ⑤ 選択 ITEM 全削除
選択している ITEM を全て削除します。
- ⑥ 前に詰める
選択している ITEM の前のスペースを詰めます。
- ⑦ 後ろに詰める
選択している ITEM の後ろのスペースを詰めます。
- ⑧ 分割
タイムラインカーソルの位置で、選択している ITEM を分割します。
- ⑨ IN 点設定
タイムラインカーソルが表示されている位置に IN 点を設定します。
- ⑩ OUT 点設定
タイムラインカーソルが表示されている位置に OUT 点を設定します。
- ⑪ 整列
選択中の ITEM の再生位置や再生時間を揃えます。

【開始時間】

最も早いITEMに合わせる(E)	開始時間 ▶
最も遅いITEMに合わせる(L)	

■最も早い ITEM に合わせる

選択中の ITEM の中で最も早く再生される ITEM の開始時間に、選択中の全ての ITEM の開始時間

を合わせます。同一 FACE の ITEM を複数選択した場合は、選択中の ITEM の中で最も開始時間が早い ITEM だけが適用されます。開始時間に別の ITEM がある ITEM の整列は、キャンセルされます。

■最も遅い ITEM に合わせる

選択中の ITEM の中で最も遅く再生される ITEM の開始時間に選択中の全ての ITEM の開始時間を合わせます。同一 FACE の ITEM を複数選択した場合は、選択中の ITEM の中で最も開始時間が遅い ITEM だけが適用されます。開始時間に別の ITEM がある ITEM の整列は、キャンセルされます。

【再生時間】



■最も短い ITEM に合わせる

選択中の ITEM の中で最も短い ITEM の再生時間に再生時間を合わせます。

■最も長い ITEM に合わせる

選択中の ITEM の中で最も長い ITEM の再生時間に再生時間を合わせます。調整後に別の ITEM が重なる場合は、ITEM の整列がキャンセルされます。

8.2.1.3. 表示メニュー



① プレビュー

【プレビュー】ウィンドウの表示状態を表します。チェックが付いている場合、ウィンドウが表示されています。【プレビュー】ウィンドウが消えてしまった場合、チェックを入れて表示することができます。

② プロパティ

【設定】ウィンドウの【プロパティ】タブの表示状態を表します。チェックが付いている場合、タブが表示されています。【設定】ウィンドウが消えている、または他のタブが表示されている場合、チェックを入れて表示することができます。

③ エフェクト

【設定】ウィンドウの【エフェクト】タブの表示状態を表します。チェックが付いている場合、タブが表示されています。【設定】ウィンドウが消えている、または他のタブが表示されている場合、チェックを入れると表示することができます。

④ フィルター

【設定】ウィンドウの【フィルター】タブの表示状態を表します。チェックが付いている場合、タブが表示されています。【設定】ウィンドウが消えている、または他のタブが表示されている場合、チェックを入れると表示することができます。

8.2.1.4. コントロールメニュー

コントロール(C)		
①	TOP(T)	Ctrl+T
②	SCREEN(P)	Ctrl+P
③	GUIDE(G)	Ctrl+G
④	LOOP(L)	Ctrl+L
⑤	START/PAUSE(S)	Space

- ① TOP
タイムラインカーソルを IN 点の位置まで移動します。
- ② SCREEN
プロジェクターへ投影します。
- ③ GUIDE
【プレビュー】ウィンドウにガイドを表示します。
- ④ LOOP
IN 点と OUT 点の間を繰り返し再生するモードにします。
- ⑤ START/PAUSE
再生、停止します。

8.2.1.5. リモートメニュー

リモート(R)	
①	接続(C)
②	切断(D)
③	ホスト起動(H)

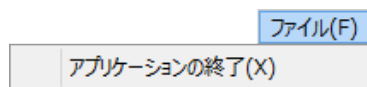
Projection Canvas Pro のみの機能です。

- ① 接続
接続先 IP アドレスの機器にリモート接続します。事前に、【設定】メニューの【各種設定】を選択し、【リモート】タブから接続先のパソコンの IP アドレスを設定する必要があります。
- ① 切断
リモート接続を解除します。
- ② ホスト起動
【リモコンソフト】を起動します。

8.2.1.5.1. リモコンソフト

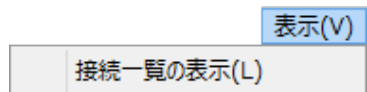


① ファイルメニュー



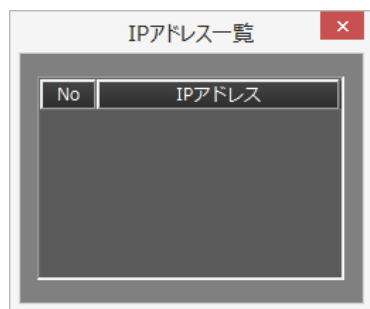
■アプリケーションの終了
リモコンソフトを終了します。

② 表示メニュー



■接続一覧の表示

【IP アドレス一覧】ウィンドウが表示され、リモート接続されている機器の IP アドレスを確認できます。



③ ヘルプメニュー

リモコンソフトのバージョンを確認できます。

④ IP アドレス

ご利用機器の IP アドレスを表示します。

⑤ インジケータ

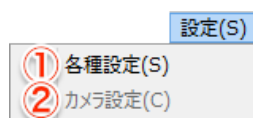
接続状態を表示します。

⑥ TOP

タイムラインカーソルを IN 点の位置まで移動します。

- ⑦ SCREEN
プロジェクターへ映像を投影します。
- ⑧ GUIDE
【プレビュー】ウィンドウにガイドを表示します。
- ⑨ LOOP
IN 点と OUT 点の間を繰り返し再生するモードにします。
- ⑩ START/PAUSE
再生、停止します。
- ⑪ スライダーバー
再生位置を表示します。つまみを移動することも可能です。
- ⑫ 現在時間
現在の再生位置の時間を表示します。数値を入力して変更が可能です。
- ⑬ 再生時間
IN 点から OUT 点の間の時間を表示します。
- ⑭ プロジェクト
プロジェクト全体の時間を表示します。

8.2.1.6. 設定メニュー



① 各種設定

【時間】



■ 静止画デフォルト表示時間

静止画デフォルト表示時間を設定できます。静止画デフォルト表示時間とは、静止画をタイムラインに読み込んだ際の既定時間のことです。

■エフェクトデフォルト表示時間

エフェクトデフォルト表示時間を設定できます。エフェクトデフォルト表示時間とは、ITEM にエフェクトを適用した際の既定時間のことです。

【リモート】



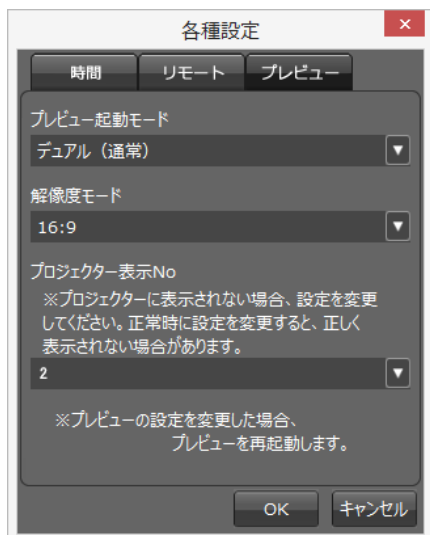
Projection Canvas Pro のみの機能です。

■接続先 IP アドレス

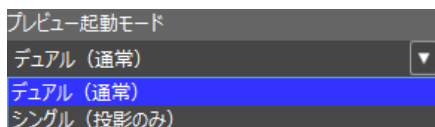
リモート接続するパソコンの IP アドレスを設定できます。

【プレビュー】

※プレビューの設定を変更した場合、【プレビュー】画面を再起動します。



■プレビュー起動モード



・デュアル(通常)

コントロールで【SCREEN】ボタンをクリックした際に、【プレビュー】ウィンドウを PC 画面側に表示

します。

・シングル(投影のみ)

コントロールで【SCREEN】ボタンをクリックした際に、【プレビュー】ウィンドウを PC 画面側には表示せず、プロジェクターの投影先にのみ表示します。

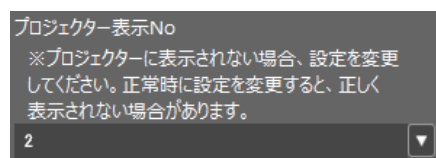
PC の動作が少し軽くなります。

■解像度モード



【プレビュー】ウィンドウの縦横比を【FREE／16:9／4:3／9:16／3:4】から選択できます。

■プロジェクター表示 No



プロジェクター表示の設定を変更できます。

パソコンとプロジェクターの接続に問題がない場合でも、お使いのパソコン環境によってはプロジェクターに映像が表示されないことがあります。プロジェクターに映像が正しく投影されない場合のみ、【プロジェクター表示 No】の変更をお試しください。

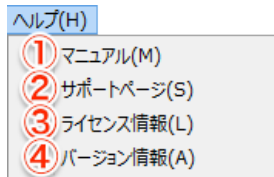
② カメラ設定



読み込むカメラの検出や表示名などを設定します。カメラ設定は、プロジェクトを開いていない状態で行ってください。

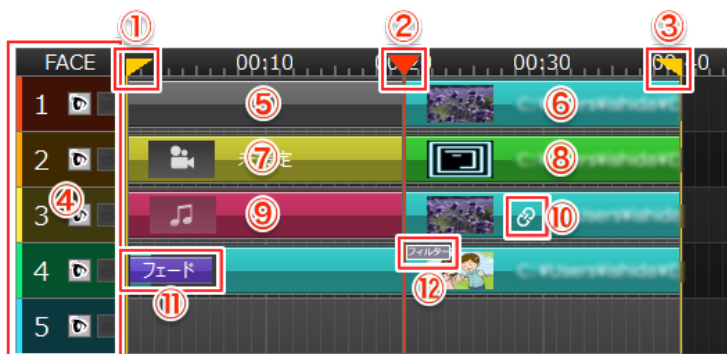
【設定】メニューの【各種設定】で、プレビュー起動モードを【通常(デュアル)】に設定していた場合は、【SCREEN】ボタン押下時にプロジェクター側だけ、カメラ映像が反映されます。【プレビュー】ウィンドウ上では、カメラ映像は更新されません。

8.2.1.7. ヘルプメニュー



- ① マニュアル
製品マニュアルを開きます。
- ② サポートページ
サポートページを開きます。
- ③ ライセンス情報
ライセンスキーの登録や解除、ライセンスキーの有効期限を確認できます。
- ④ バージョン情報
ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

8.2.2. タイムライン



① IN 点

再生開始ポイントです。

② タイムラインカーソル

現在の再生位置を表示するカーソルです。

③ OUT 点

再生終了ポイントです。

④ FACE

素材を配置するエリアです。

Projection Canvas Lite は 10 個まで作成が可能です。Pro は無制限に作成できます。

■表示/非表示



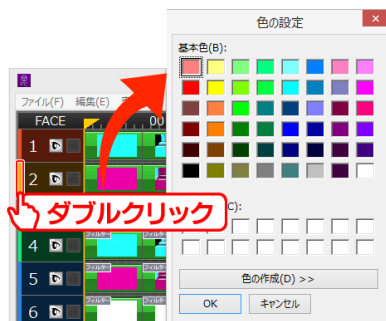
FACE の表示状態を変更します。

■ロック/ロック解除



FACE の編集を制御します。ロックされている場合、【タイムライン】や【プレビュー】での操作はできません。

■色変更



FACE のガイドの表示色を変更できます。ダブルクリックすると【色の設定】ウィンドウが表示されます。

【ITEM】

動画や静止画、音楽、カメラなどの素材を ITEM と呼びます。

⑤ NONE(空の ITEM)

何も設定されていない ITEM です。

⑥ IMAGE(静止画)

JPEG/PNG/BMP ファイル(サイズ 1920×1080 以下推奨)を設定する ITEM です。

⑦ CAMERA(カメラ)

外部カメラの映像を表示する ITEM です。

⑧ MOVIE(動画)

MOV ファイル(H.264/768kbps/フレームサイズ 600×600 推奨)を設定する ITEM です。

⑨ SOUND(音)

MP3/WAV ファイルを設定する ITEM です。

⑩ LINK(リンク)

同じ TIME に配置された別 FACE の ITEM とリンクしている ITEM です。

⑪ エフェクト

エフェクトが適用されている ITEM に表示されます。

⑫ フィルター

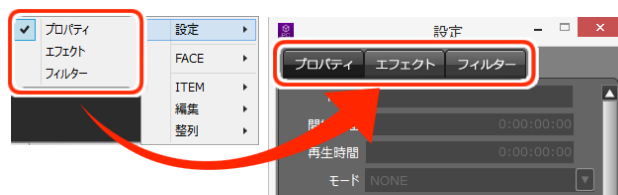
フィルターが適用されている ITEM に表示されます。

8.2.2.1. タイムラインでの右クリックメニュー

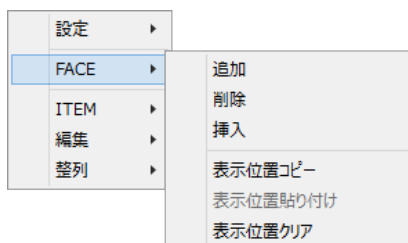


① 設定

設定ウィンドウのタブを切り替えます。



② FACE



■追加

FACE を追加します。ショートカットキーは【Alt】+【A】キーです。

■削除

FACE を削除します。FACE に ITEM がある場合、削除できません。ITEM を削除してから、FACE を削除してください。

■挿入

選択 FACE の上に新しい FACE を挿入します。

■表示位置コピー

選択している FACE の表示位置(プレビューウィンドウの GUIDE 位置)をコピーします。

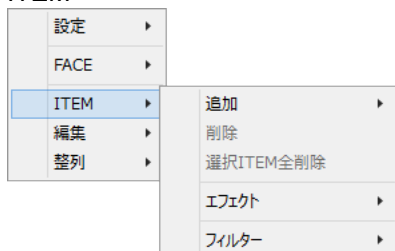
■表示位置貼り付け

コピーした表示位置(プレビューウィンドウの GUIDE 位置)を貼り付けます。

■表示位置クリア

ガイドの表示位置をデフォルトの位置に戻します。

③ ITEM



■追加



【NONE／IMAGE／CAMERA／MOVIE／SOUND／LINK】の6種類から選択してITEMを追加します。

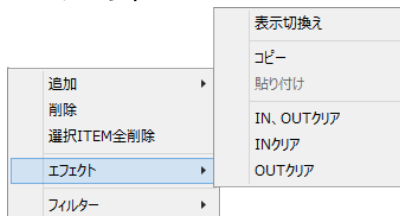
■削除

右クリックした1つのITEMを削除します。リンクされたアイテムは一緒に削除します。

■選択ITEM全削除

選択している全ITEMを削除します。

■エフェクト



・表示切替え

ITEMに表示されている【エフェクト】アイコンの表示を、サムネイルの上か下かの切替えをします。

・コピー

選択しているITEMのエフェクトをコピーします。

・貼り付け

コピーしたエフェクトを選択しているITEMに貼り付けます。

・IN, OUT クリア

IN エフェクトと OUT エフェクトをクリアします。

・IN クリア

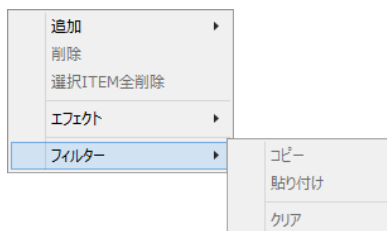
IN エフェクトのみクリアします。

・OUT クリア

OUT エフェクトのみクリアします。

リンクITEMの場合、リンクされているすべてITEMのエフェクトがクリアされます。1つのリンク素材のエフェクトをクリアする場合は、【設定】ウィンドウの【エフェクト】タブからINエフェクトまたはOUTエフェクトを【なし】に設定してください。

■フィルター



・コピー

選択している ITEM のフィルターをコピーします。

・貼り付け

コピーしたフィルターを選択している ITEM に貼り付けます。

・クリア

ITEM に適用されているフィルターをクリアします。

リンク ITEM の場合、リンク元とリンクされているすべて ITEM のフィルターがクリアされます。1 つのリンク素材のフィルターをクリアする場合は、【設定】ウィンドウの【フィルター】タブから、フィルターを【なし】に設定してください。

④ 編集



■コピー

選択している ITEM をコピーします。

■貼り付け

コピーした ITEM を貼り付けます。別プロジェクト、プロジェクトからパッケージへの貼り付けも可能です。詳しくは、「[10.15【ITEM】を他のプロジェクトにコピー&ペーストする](#)」を参照してください。

■FACE の全 ITEM を選択

選択している FACE の全 ITEM を選択します。

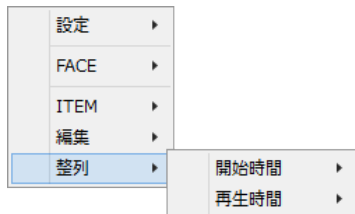
■前へ詰める

選択した ITEM の前のスペースを詰めます。

■後ろへ詰める

選択した ITEM の後ろのスペースを詰めます。

⑤ 整列



■開始時間

複数選択している ITEM を、選択している ITEM の中で最も早い開始時間、または最も遅い開始時間に合わせます。

■再生時間

複数選択している ITEM を、選択している ITEM の中で最も短い再生時間、または最も長い再生時間に合わせます。

8.2.2.2. 縮尺



タイムラインの 1 目盛りの秒数を変更することができます。変更できる秒数は下記の 7 通りです。
10 秒／5 秒／2 秒／1 秒／0.5 秒／0.2 秒／0.1 秒

8.2.3. コントロール



- ① 現在時間
現在の再生位置の時間を表示しています。数値を入力して変更が可能です。
- ② 再生時間
IN 点から OUT 点の間の時間を表示します。
- ③ プロジェクト
プロジェクト全体の時間を表示しています。数値を入力して変更が可能です。
- ④ TOP
タイムラインカーソルを IN 点の位置まで移動します。
- ⑤ SCREEN
プロジェクターへ映像を投影します。
- ⑥ GUIDE
【プレビュー】ウィンドウにガイドを表示します。
- ⑦ LOOP
IN 点と OUT 点の間を繰り返し再生するモードにします。
- ⑧ START／PAUSE
再生、停止します。

8.3. 設定ウィンドウ

選択した ITEM の設定を行います。プロパティ、エフェクト、フィルターの 3 つのタブがあります。グレードやバージョンによって使用できないタブや機能があります。

8.3.1. プロパティ



① FACE

選択している FACE 番号を表示します。

② 開始時間

ITEM のタイムライン上での開始位置(時間)を設定できます。

③ 再生時間

ITEM の長さ(時間)を設定できます。

④ モード

ITEM がどのような素材なのかを選択、表示します。

【NONE/IMAGE/CAMERA/MOVIE/SOUND/LINK】の 6 つのモードがあります。

モードの種類については、「[8.2.2 タイムライン](#)」を参照してください。

⑤ ファイル名

選択している ITEM のファイルの場所とファイル名を表示します。

⑥ 再生モード

再生モードをノーマル/ループの 2 種類から選択できます。

■ノーマル

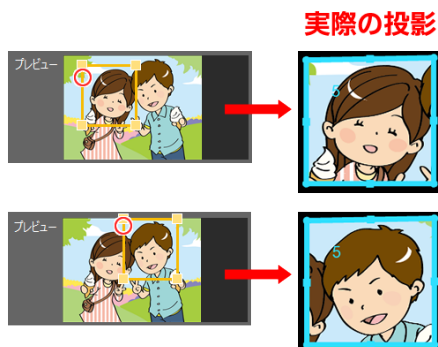
映像が終わると最後のフレームで止まります。

■ループ

映像が終わると最初のフレームへ戻り、繰り返します。

⑦ プレビュー

設定した ITEM のプレビューが表示されています。



黄色い枠の大きさを変えたり位置を移動したりしてマスクをかけ、投影する範囲を指定できます。

⑧ 形状 Pro

マスクの形状を変えられます。



四角の他に丸、またはマスクしたい形状に透過した画像を選択できます。画像マスクについては、

「[10.11 画像マスクを適用する Pro](#)」を参照してください。

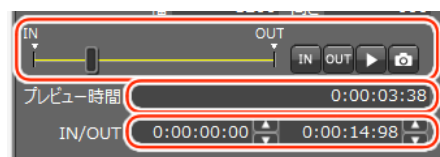


【表示／非表示】アイコンをクリックして設定したマスクの適応状態を設定できます。

⑨ 位置／幅／高さ

【プレビュー】の黄色い枠の位置と大きさを表示します。数値を入力することもできます。

⑩ 動画プロパティ



■スライダーバー

スライダーバーを動かして動画の内容を確認できます。

■IN



スライダーバーを任意の場所に設定し【IN】ボタンをクリックすると、動画の開始位置を指定できます。

■OUT



スライダーバーを任意の場所に設定し【OUT】ボタンをクリックすると、動画の終了位置を指定できます。

■プレビュー

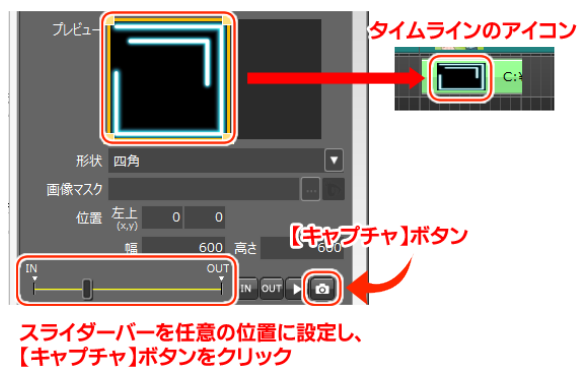


クリックすると【プロパティ】タブ上で動画が再生され、動画の内容を確認できます。

■キャプチャ



スライダーバーを任意の場所に設定し【キャプチャ】ボタンをクリックすると、タイムラインに表示されるサムネイル画像を指定できます。



■プレビュー時間

スライダーバーの時間を表示します。

■IN/OUT

【IN】ボタンと【OUT】ボタンで設定した時間を表示します。数値を入力することもできます。

⑪ 音プロパティ

■音量



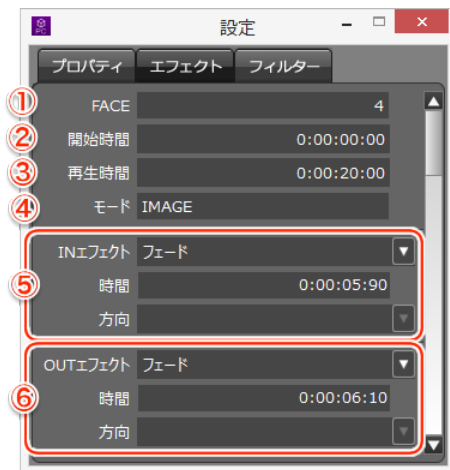
選択している ITEM の音量を調整します。

■消音



選択している ITEM の音を消します。

8.3.2. エフェクト



- ① FACE
選択している ITEM の FACE 番号を表示します。変更はできません。
- ② 開始時間
選択している ITEM の開始時間を表示します。変更はできません。
- ③ 再生時間
選択している ITEM の再生時間を表示します。変更はできません。
- ④ モード
選択している ITEM のモードを表示します。モードの種類については、「[8.2.2 タイムライン](#)」の【ITEM】を参照してください。変更はできません。
- ⑤ IN エフェクト
選択している ITEM に IN エフェクトを設定します。
 - 時間
エフェクトの時間を設定できます。
 - 方向
未実装
- ⑥ OUT エフェクト
選択している ITEM に OUT エフェクトを設定します。
 - 時間
エフェクトの時間を設定できます。
 - 方向
未実装

8.3.3. フィルター Pro



① FACE

選択している ITEM の FACE 番号を表示します。変更はできません。

② 開始時間

選択している ITEM の開始時間を表示します。変更はできません。

③ 再生時間

選択している ITEM の再生時間を表示します。変更はできません。

④ モード

選択している ITEM のモードを表示します。モードの種類については、「[8.2.2 タイムライン](#)」の【ITEM】を参照してください。変更はできません。

⑤ フィルター

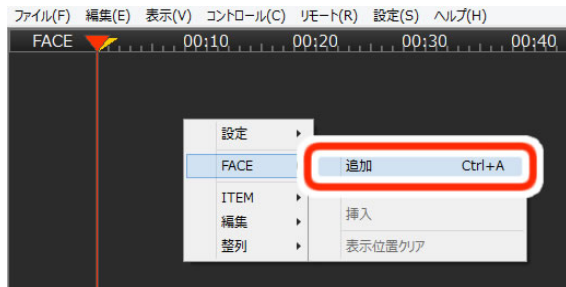
選択している ITEM に【グレースケール／ぼかし／不透明度／鏡／色調補正】の 5 種類から選択してフィルターを設定します。詳しくは、「[10.10 フィルターを適用する](#) Pro」を参照してください。



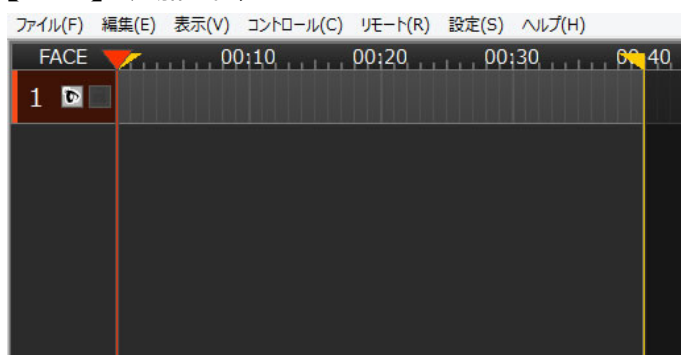
9. 操作手順

9.1. ITEM を追加する

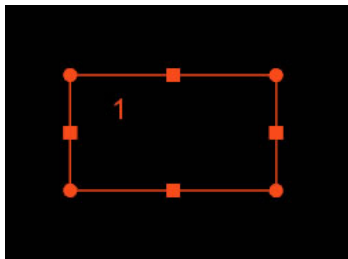
- ① タイムライン上の右クリックメニューから【FACE】の【追加】をクリックします。



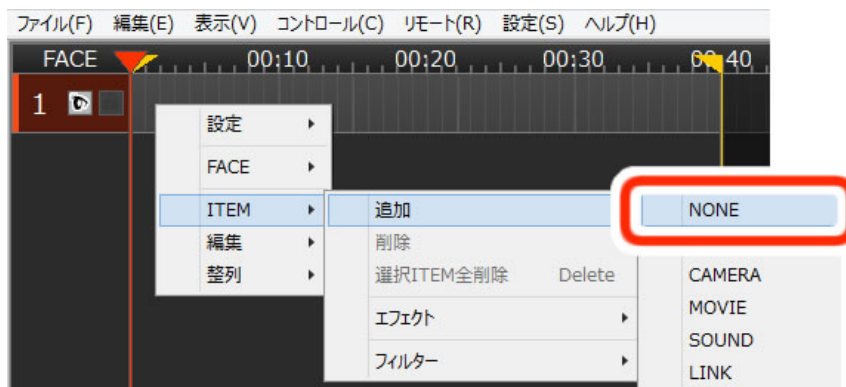
【FACE】が追加され、



【プレビュー】ウィンドウにも【FACE】枠が追加されます。



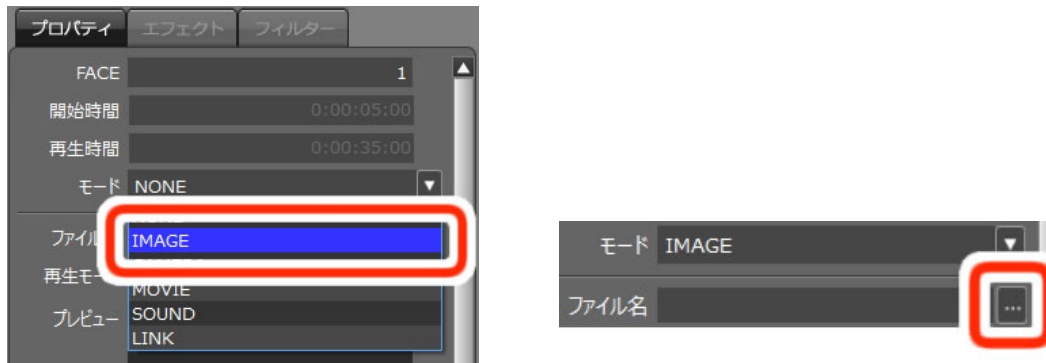
- ② 追加した【FACE】で右クリックし、右クリックメニューから【ITEM】>【追加】>【NONE】をクリックします。



空の ITEM が追加されました。

- ③ 追加した【ITEM】を選択し、【設定】ウィンドウの【プロパティ】タブで、【モード】から追加したい種類の

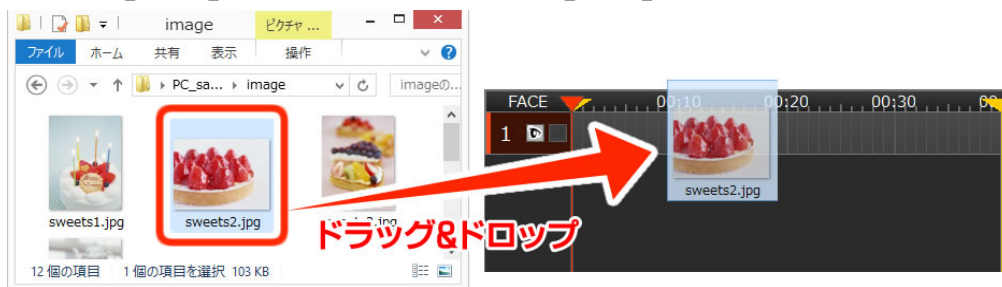
【ITEM】を選択し(ここでは【IMAGE】(静止画)で説明します)、【ファイル名】の【参照】ボタンをクリックし、投影したいファイルを選択します。



【ITEM】が追加されました。



ファイルを【FACE】に直接ドラッグ&ドロップして、【ITEM】を追加することもできます。

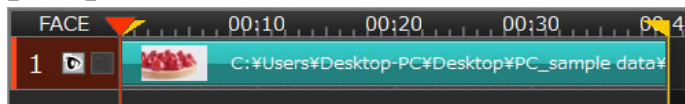


9.2. 【ITEM】の長さを調整する

【ITEM】の両端にカーソルを近づけ、下図のようなアイコンになったらドラッグ&ドロップします。



【ITEM】の長さが調整されました。



【設定】ウィンドウの【プロパティ】タブの【再生時間】に直接数値を入力して調整することもできます。



9.3. オブジェクトに映像を合わせる

- ① 【タイムライン】ウィンドウの【コントロール】の【SCREEN】ボタンをクリックします。



ガイドが表示されていない場合は、【コントロール】の【GUIDE】ボタンをクリックします。



- ② 【ITEM】を選択します。

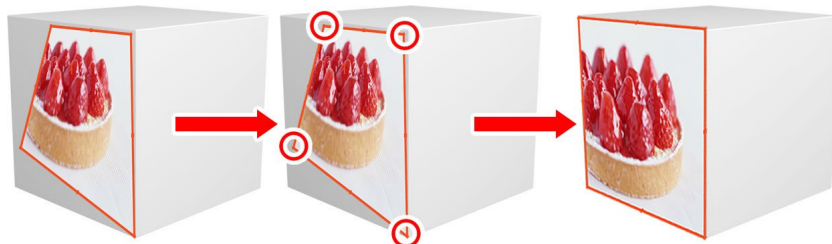
【ITEM】を選択すると、【プレビュー】ウィンドウのガイドが太く表示されます。



- ③ ガイドの四隅の4点を移動し、投影された映像をオブジェクトに合わせます。



- ④ 【プレビュー】ウィンドウのガイドの丸いポイントをドラッグ&ドロップして四隅の点をそれぞれ移動し、実際のオブジェクトを見ながら、投影された映像を合わせます。



ガイドの辺を移動したい場合は、ガイドの四角いポイントで移動することができます。



FACE の大きさを変えずに位置を移動する場合は、【プレビュー】ウィンドウの FACE の枠内をクリックし、ドラッグ&ドロップすると大きさや形を変えずに位置を移動できます。



9.4. 再生する

- ① 表示されているガイドを非表示にします。【GUIDE】ボタンをクリックします。



- ② 【タイムライン】ウィンドウの【コントロール】の【START】ボタンをクリックします。



再生が開始されます。

- ③ 停止をするときは、【タイムライン】ウィンドウの【コントロール】の【PAUSE】ボタンをクリックします。



9.5. プロジェクトを保存しましょう

【ファイル】メニューから【保存】を選択します。



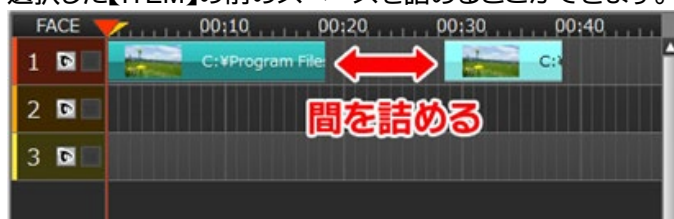
これで 1 つのプロジェクトが完成しました。

10. 操作手順(応用)

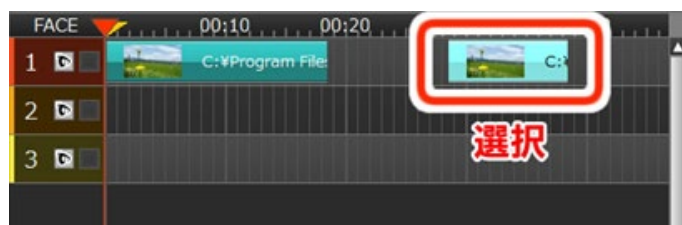
Projection Canvas の操作に慣れてきたら、ショートカットなどの機能を使用してみましょう。

10.1. 【ITEM】を前に詰める

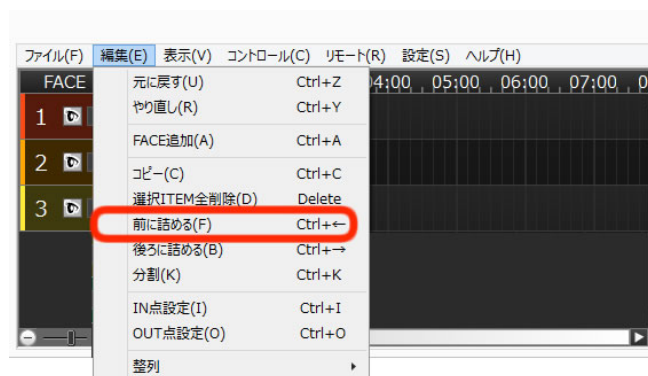
選択した【ITEM】の前のスペースを詰めることができます。



① 前に詰めたい【ITEM】を選択します。

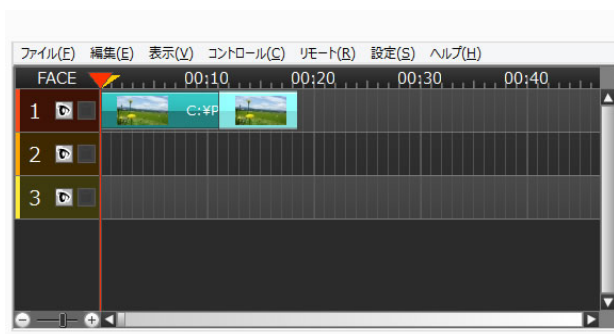


② 【編集】メニューの【前に詰める】を選択します。



または、【Ctrl】キー＋【←】キーを押してください。

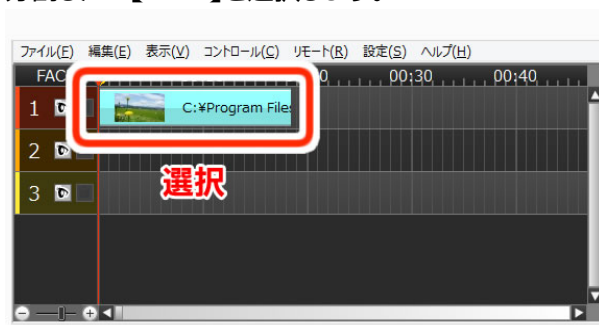
③ 【ITEM】が詰まりました。



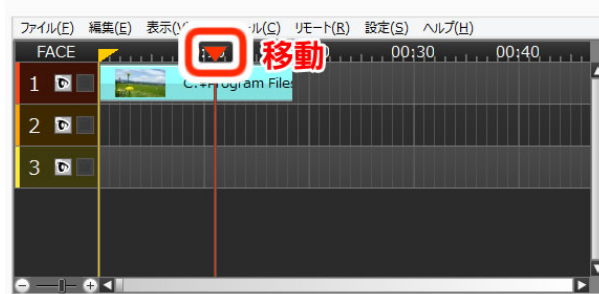
10.2. 【ITEM】の分割

素材をタイムラインカーソルの位置で分割することができます。

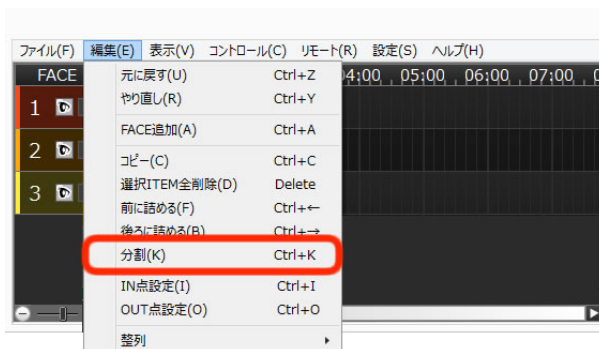
① 分割したい【ITEM】を選択します。



② 分割したい位置にタイムラインカーソルを移動します。

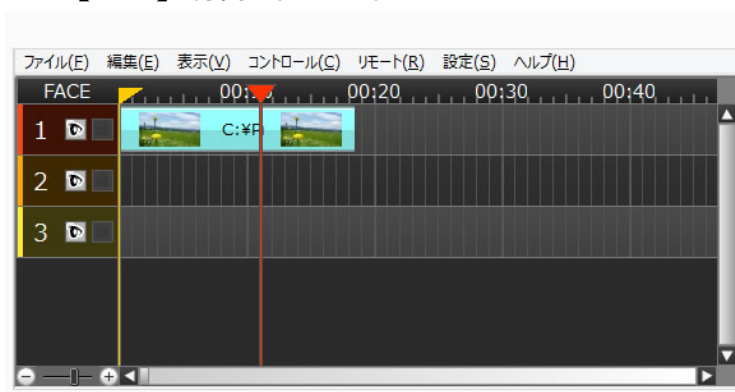


③ 【編集】メニューから【分割】を選択します。



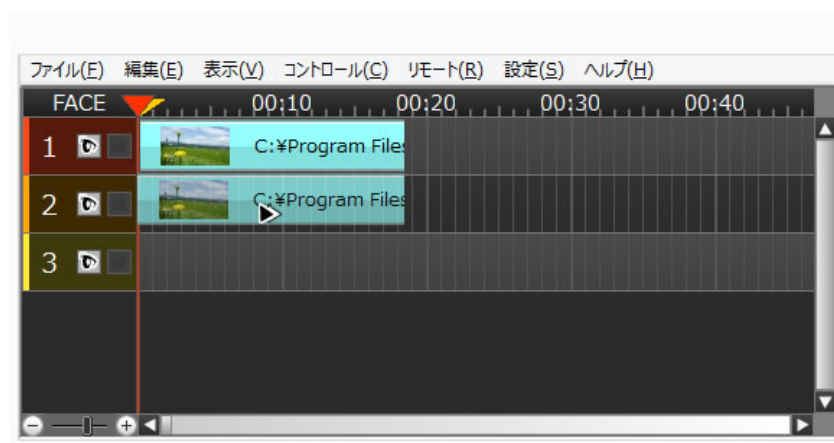
または、【Ctrl】キー＋【K】キーを押してください。

- ④ 2つの【ITEM】に分割されました。



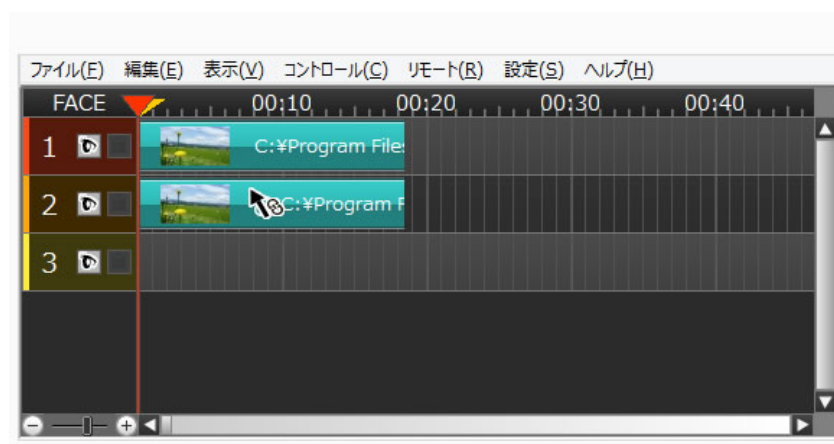
10.3. 【ITEM】の複製

【ITEM】をドラッグしている最中に【Ctrl】キーを押しながらドロップすると【ITEM】が複製されます。



10.4. 【ITEM】のリンク作成

【ITEM】をドラッグしている最中に【Alt】キーを押しながら別の FACE にドロップするとリンク素材として【ITEM】が作成されます。同じ時間軸にのみ、リンク素材を作成することができます。



10.5. 【FACE】の表示位置をコピーする

【FACE】2 を【FACE】1 と同じ位置にします。

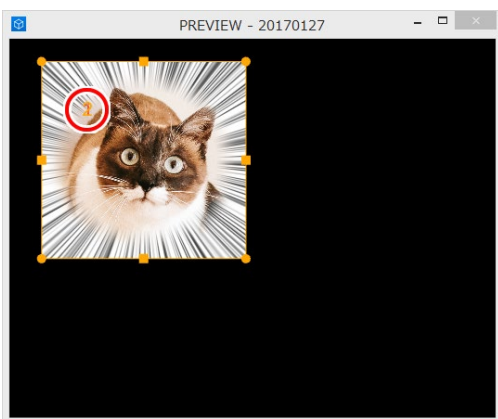
- ① 【FACE】1 のタイムラインで右クリックし、【表示位置コピー】を選択します。



- ② 【FACE】2 のタイムラインで右クリックし、【表示位置貼り付け】を選択します。



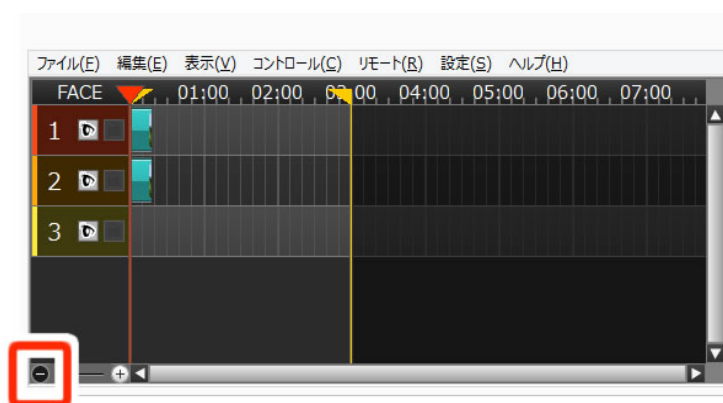
- ③ 【FACE】1 の上に【FACE】2 が重なった状態になりました。



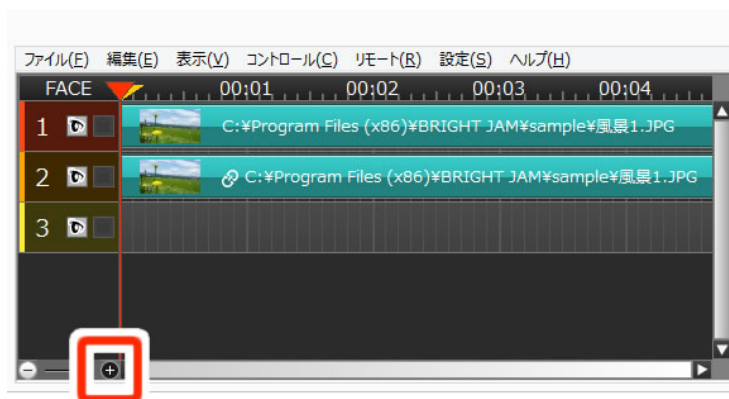
【FACE】1 と【FACE】2 が違う大きさだった場合、【表示位置貼り付け】をしたときに【FACE】1 の大きさに合わせます。

10.6. タイムラインの表示縮尺を変更する

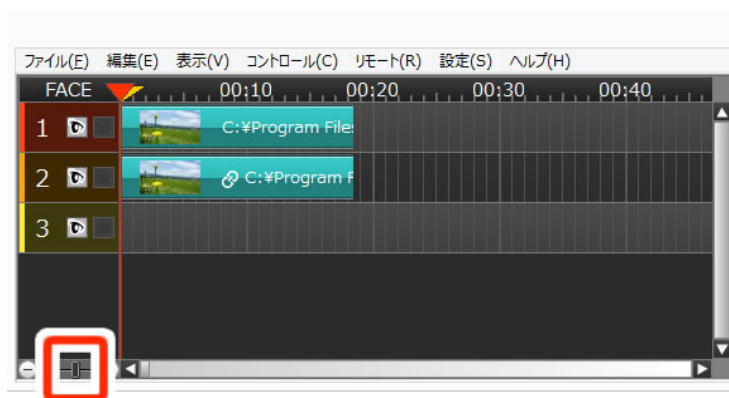
- ① 【-】ボタンをクリックすると、1 目盛りの縮尺が大きくなります。



- ② 【+】ボタンをクリックすると、1 目盛りの縮尺が小さくなります。



- ③ 【スライダー】を動かすと、1 目盛りの縮尺を変更できます。



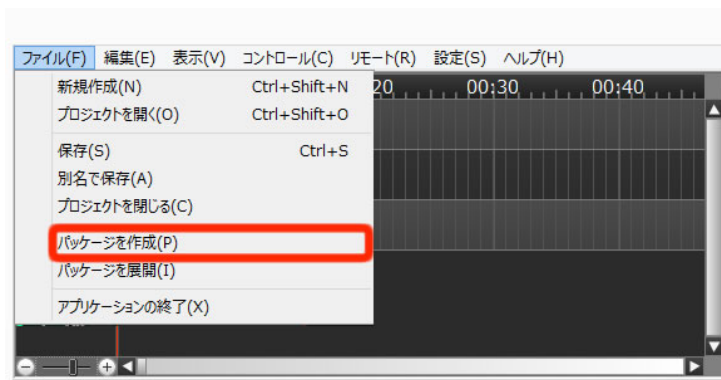
または、【Alt】キー＋【マウスホイール】操作でも縮尺を変更できます。

10.7. プロジェクトのデータを移行する

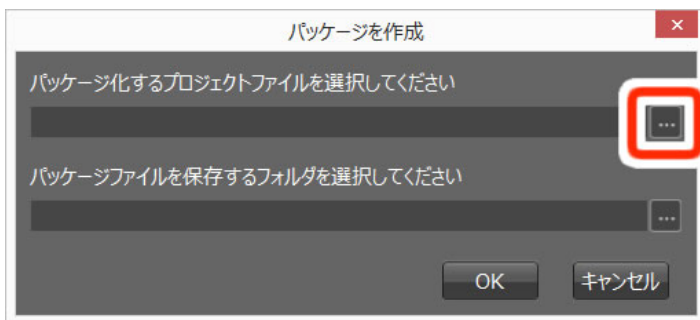
10.7.1. パッケージを作成する

プロジェクトで使用している素材を収集し圧縮ファイルとして保存します。別のパソコンでプロジェクトを読みこむ際などに使用すると便利です。

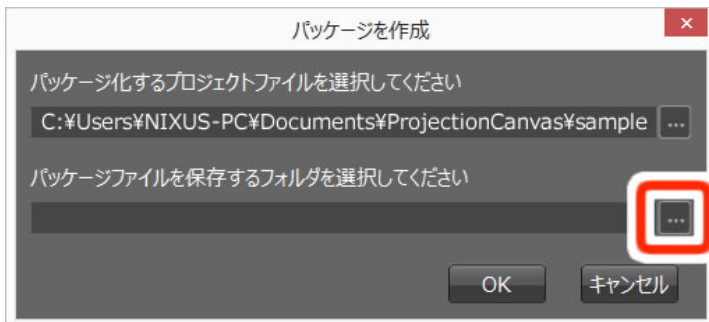
- ① 【ファイル】メニューから【パッケージを作成】を選択します。



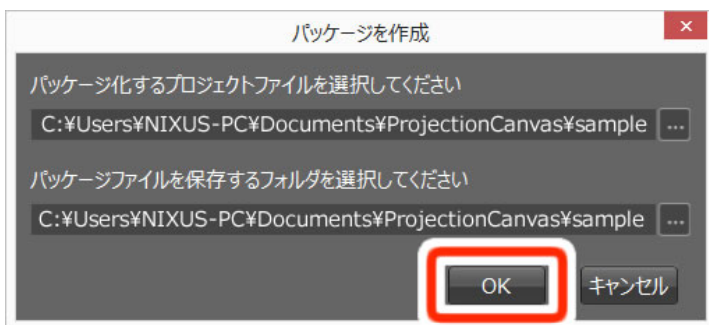
- ② パッケージ化するプロジェクトファイルを選択します。



- ③ パッケージファイルを保存するフォルダを選択します。



- ④ 【OK】ボタンをクリックします。



拡張子が【.pcpp】の新しいパッケージファイルが作成されました。



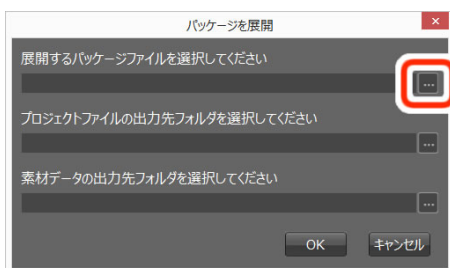
10.8. パッケージを展開する

パッケージファイルに使用されている素材の取り出しには、パッケージの展開が便利です。

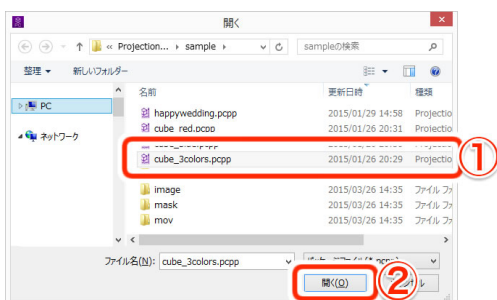
- ① 【ファイル】メニューから【パッケージを展開】を選択します。



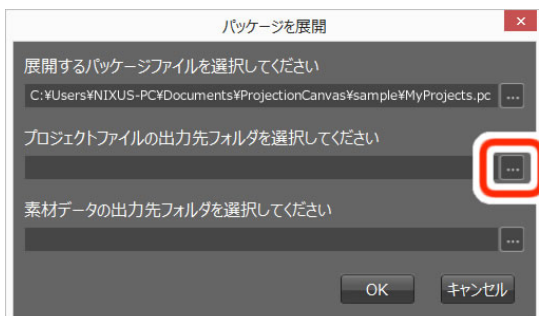
- ② 【パッケージを展開】ウィンドウが表示されます。展開したいパッケージファイルを【参照】ボタンから選択します。



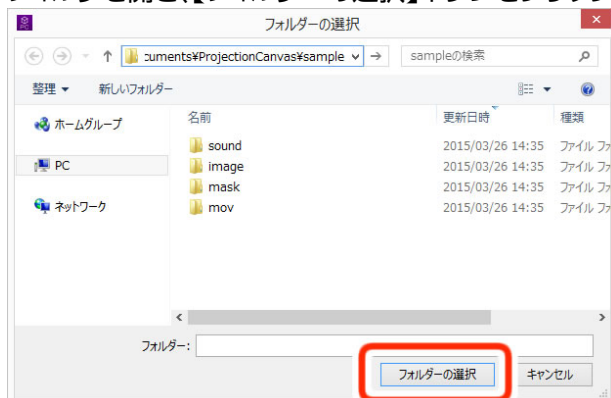
- ③ 該当のパッケージファイルを選択し、【開く】ボタンをクリックします。



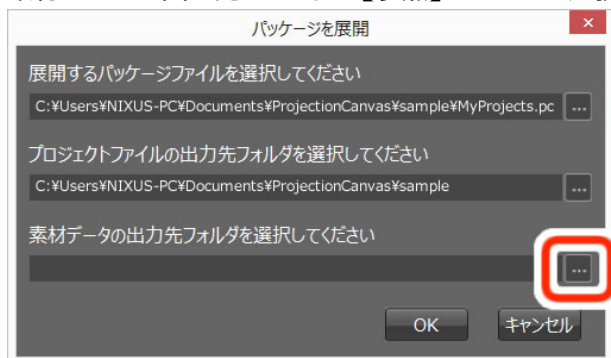
- ④ プロジェクトファイル出力先を【参照】ボタンから選択します。



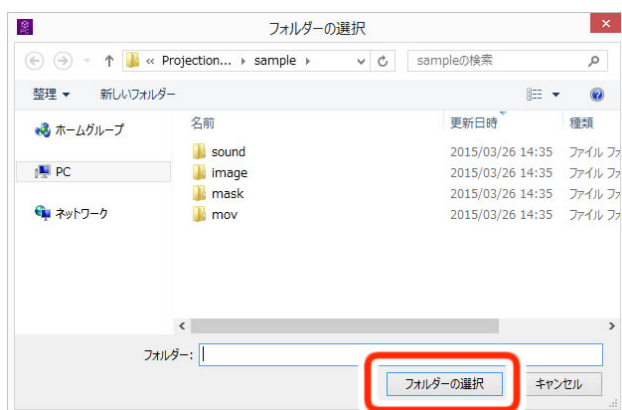
- ⑤ フォルダを開き、【フォルダーの選択】ボタンをクリックします。



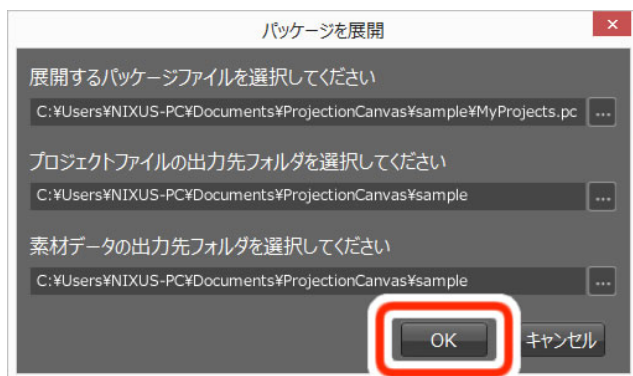
- ⑥ 素材データの出力先フォルダを【参照】ボタンから選択します。



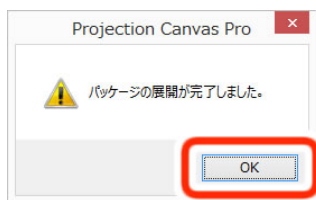
- ⑦ フォルダを開き、【フォルダーの選択】ボタンをクリックします。



- ⑧ 【OK】ボタンをクリックします。



- ⑨ 再度【OK】ボタンをクリックします。



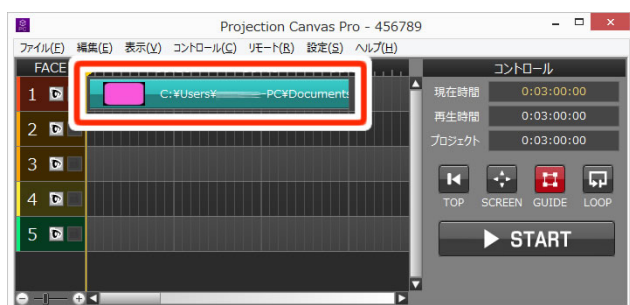
- ⑩ プロジェクトファイル(pcp ファイル)、素材データ、マスク画像データが展開されました。



10.9. エフェクトを適用する

選択中の【ITEM】の前後にフェード等のエフェクトを適用することができます。今回は【ITEM】に IN フェードを適用してみましょう。

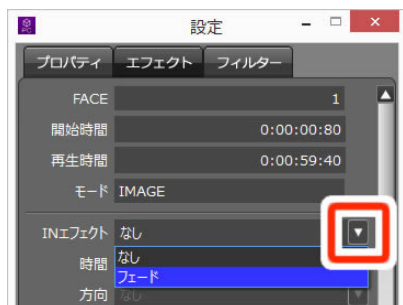
- ① 【ITEM】を選択します。



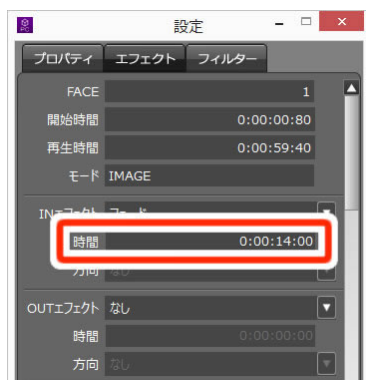
- ② 【設定】ウィンドウの【エフェクト】タブを選択します。



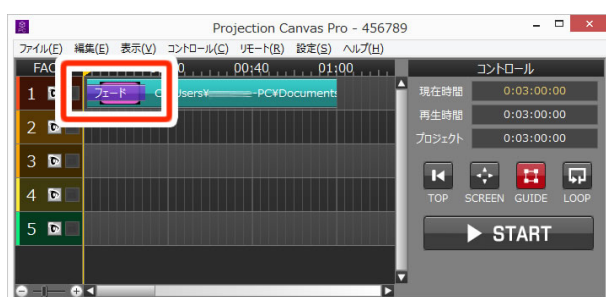
- ③ 【IN エフェクト】から【フェード】を選択します。



- ④ 【IN エフェクト】の【時間】を設定します。



- ⑤ ITEM に IN フェードが適用されました。



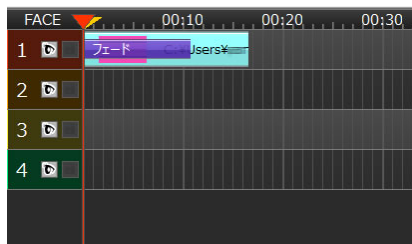
- ⑥ エフェクトの長さをドラッグ&ドロップで直感的に調整します。
エフェクトの端にマウスカursorを近づけます。



カーソルが下図のように変更されます。ドラッグ&ドロップします。



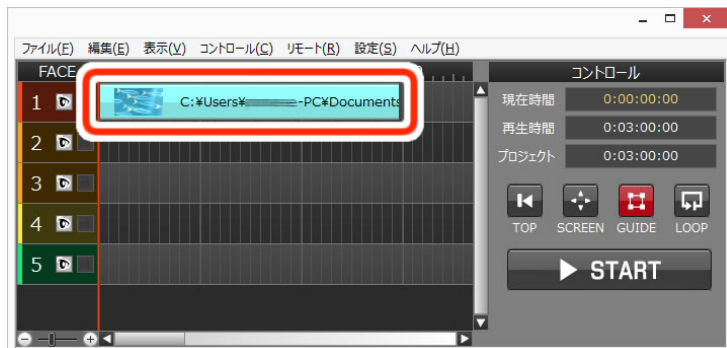
長さが調整されます。



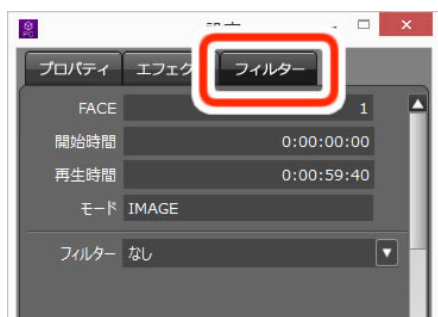
10.10. フィルターを適用する Pro

選択中している【ITEM】にグレースケールやぼかしなどのフィルターを適用することができます。透明度のある画像には適用できません。

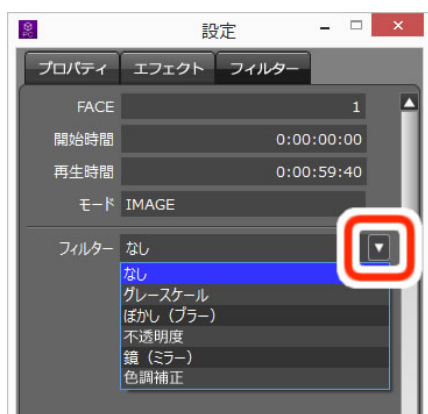
- ① 【ITEM】を選択します。



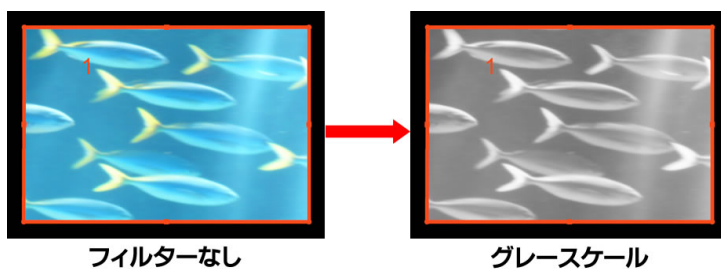
- ② 【設定】ウィンドウの【フィルター】タブを選択します。



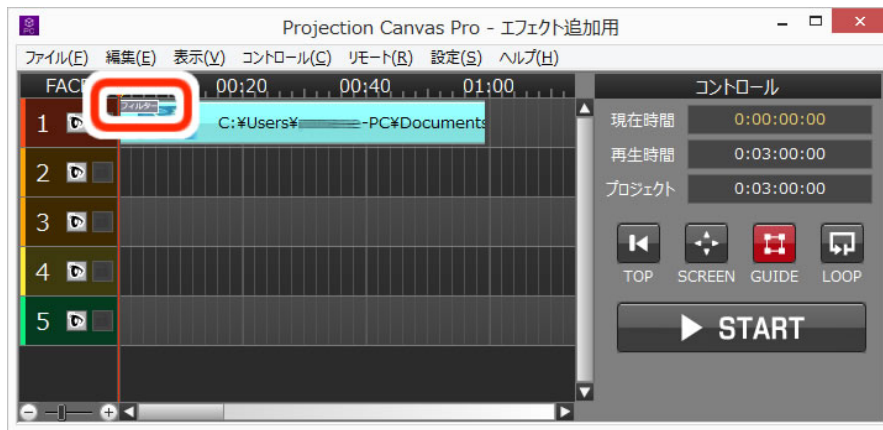
- ③ 【フィルター】から任意のフィルターを選択します。今回はグレースケールを選択します。



- ④ ITEM にフィルターが適用されました。



タイムラインの ITEM には下図のようなフィルターアイコンが表示されます。

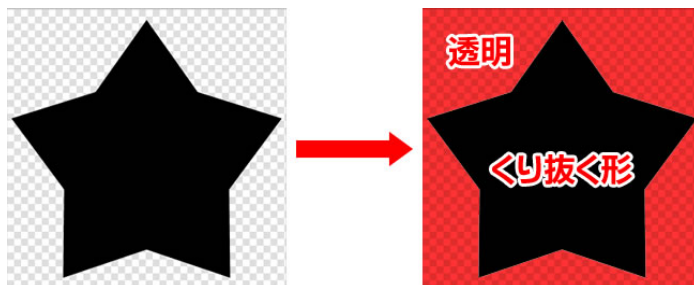


10.11. 画像マスクを適用する PRO

Projection Canvas は通常、四角形の画像や動画を再生しますが、Pro は丸や任意の形にマスク用の画像ファイルを作成し、くり抜くことができます。

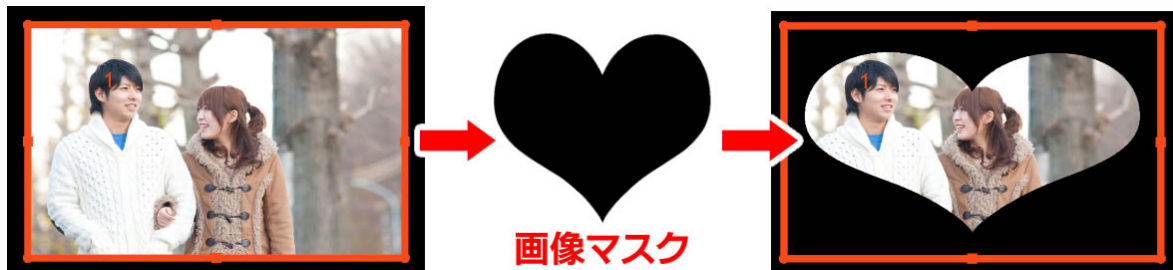
10.12. 画像マスクについて

画像マスクはいくつかのサンプルがあります。オリジナルの画像マスクを作成したい場合は、画像編集・加工ソフト等で下図のようくり抜きたい形を作成し、透明度付きの 32bit の PNG ファイルを作成してください。

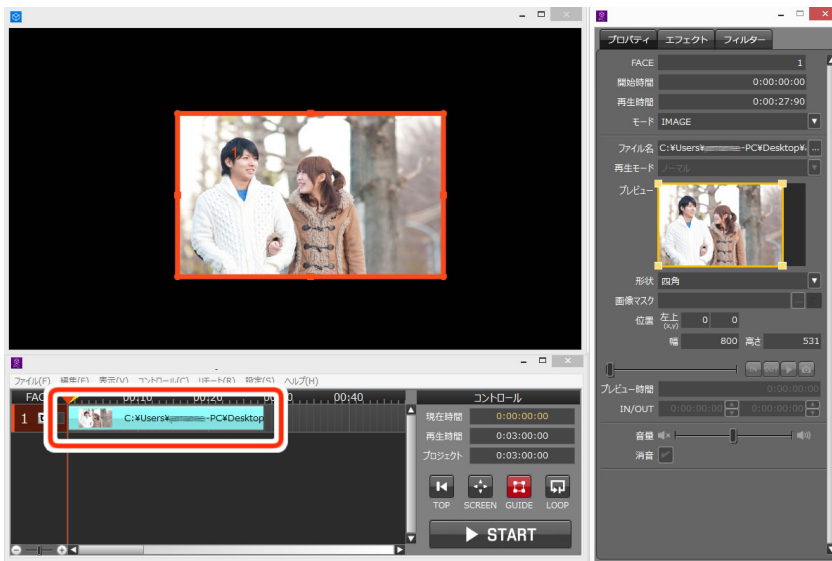


10.12.1. 画像マスクの適用方法

選択している【ITEM】に画像マスクを適用することができます。



① 【ITEM】を選択します。



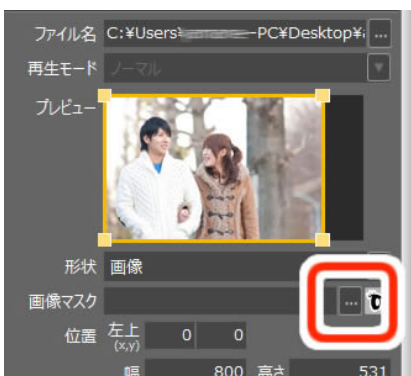
② 【設定】ウィンドウの【プロパティ】タブを選択します。



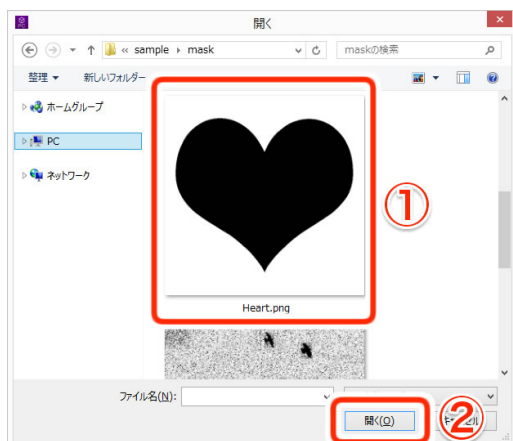
③ 形状を画像に設定します。



④ 画像マスクの【参照】ボタンをクリックします。



- ⑤ 任意の画像マスクを選択します。



- ⑥ 選択した【ITEM】がマスクされます。



10.13. リモート接続する Pro

Projection Canvas Pro は【リモコンソフト】で、パソコンとプロジェクターのセットを 4 セット同時に再生させることができます。各機器で同じ再生時間のプロジェクトを開く必要があります。



事前に親機と子機はネットワークで接続されている必要があります。



接続する親機と子機は、下図のような仕組みです。

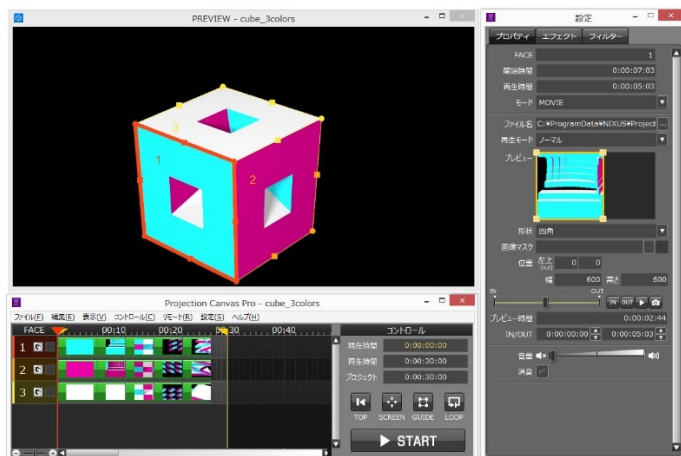


4 台接続する場合、親機 1 台、子機 3 台の構成です。親機では、【リモコンソフト】を起動し、リモート接続設定、【リモコンソフト】への接続が必要です。子機はリモート接続設定、親機で起動している【リモコンソフト】に接続する必要があります。

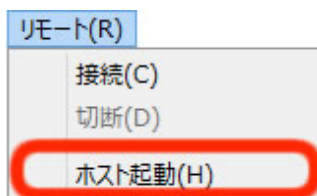
【リモコンソフト】に 4 台の PC が接続され、【リモコンソフト】で一斉にプロジェクト再生することができます。

10.13.1. 親機の準備

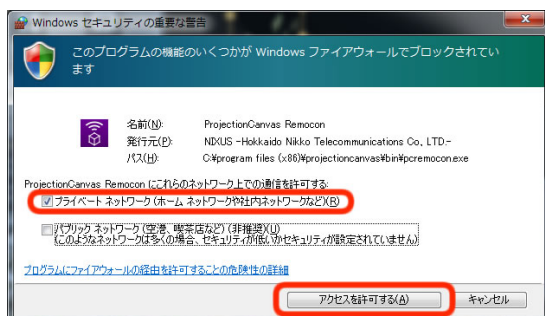
- ① Projection Canvas Pro を起動し、任意のプロジェクトを開きます。



- ② 【リモコンソフト】を起動します。【リモート】メニューの【ホスト起動】をクリックします。



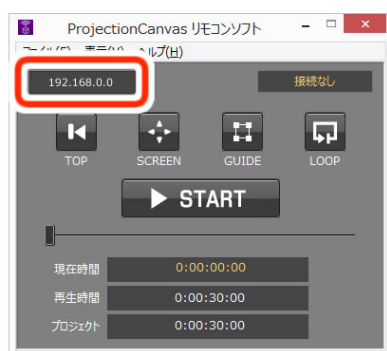
初回起動時のみ、下記のような画面が表示されることがあります。アクセスを許可する場合は、【プライベートネットワーク(ホームネットワークや社内ネットワークなど)】にチェックを入れ、【アクセスを許可する】ボタンをクリックしてください。



下記のような画面が表示されます。

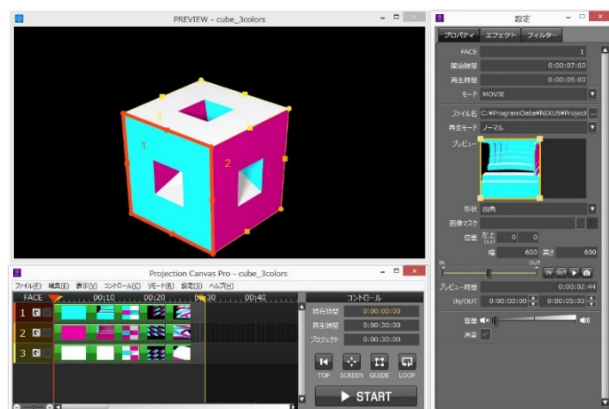


- ③ 【リモコンソフト】に表示されている親機の IP アドレスを控えておきましょう。

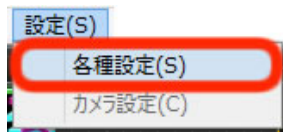


10.13.2. 子機の準備

- ① Projection Canavas Pro を起動します。
- ② 親機で開いたプロジェクトと同じものを開きます。
同じプロジェクトを同じ【現在時間】に設定してください。



- ③ 【設定】メニューの【各種設定】を開きます。



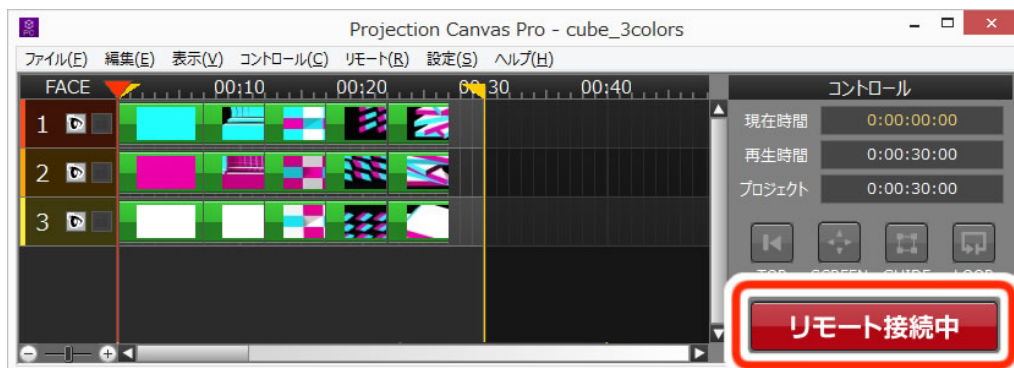
- ④ 【リモート】タブを選択し、控えておいた親機の IP アドレスを入力します。



- ⑤ 【リモート】メニューから接続を選択します。



- ⑥ 正常に接続されると、コントロールの【START】ボタンが【リモート接続中】に変更されます。

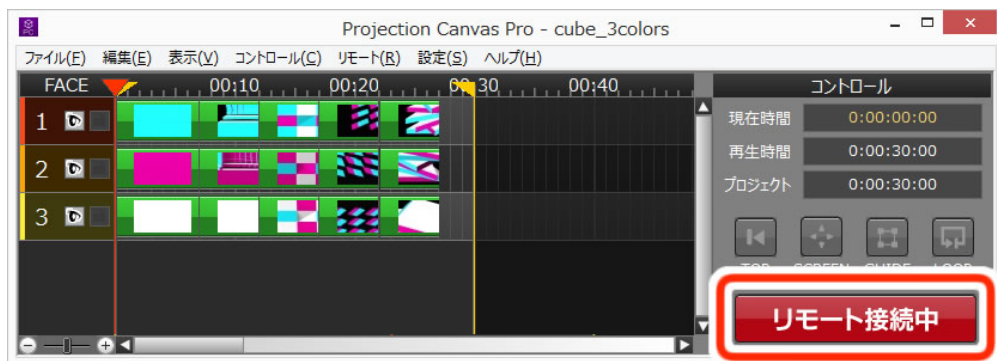


10.13.3. 親機に接続する

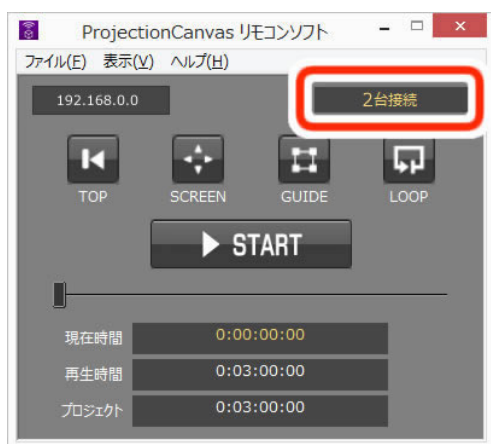
- ① 【リモート】メニューから【接続】をクリックします。



正常に接続されると、【コントロール】の【START】ボタンが【リモート接続中】に変更されます。



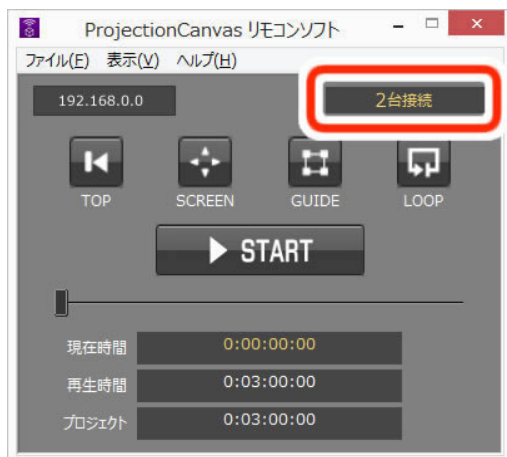
② 【リモコンソフト】のインジケータに【○台接続】(○は親機を含む接続台数)と表示されます。



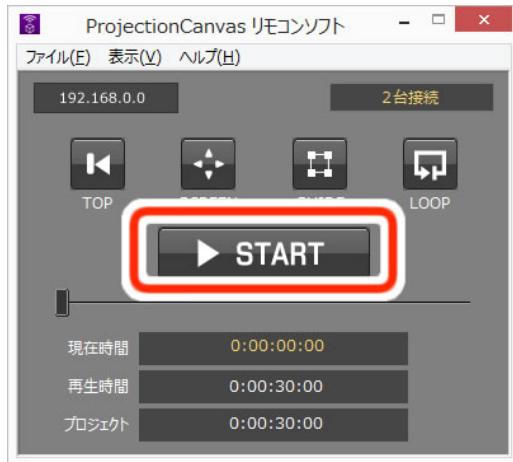
10.13.4. 一斉に再生する

親機のリモコンソフトを使用して、リモート接続している子機のプロジェクトを一斉に再生してみましょう。

- ① 親機で起動したリモコンソフトのインジケータが接続となっているか確認します。2 台接続されている場合は、【2 台接続】と表示されます。



- ② リモコンソフトの【START】ボタンを押します。親機と子機で開いているプロジェクトが一斉に再生されます。



- ③ 【PAUSE】ボタンをクリックすると一斉に停止します。

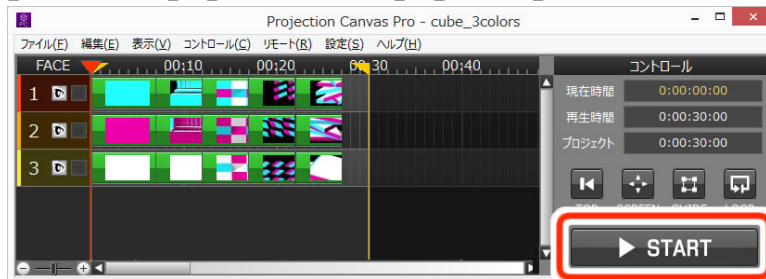
10.13.5. リモート接続解除

リモート接続を解除します。

- ① 【リモート】メニューから【切断】を選択します。

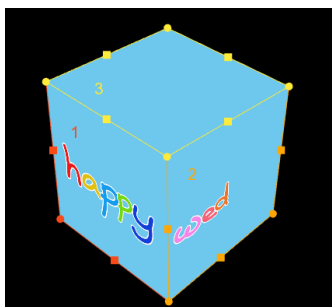


- ② 【コントロール】の【リモート接続中】が【START】ボタンに変わり、接続が解除されます。

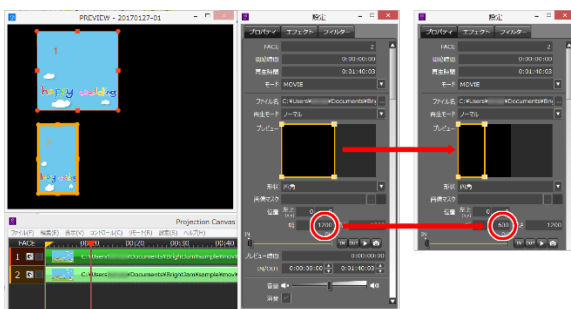


10.14. ITEM を 2 つの FACE に跨ったように表示させる

サンプル【happywedding.pcpp】のように、動画や静止画を 2 つの FACE に跨ったように表示させます。



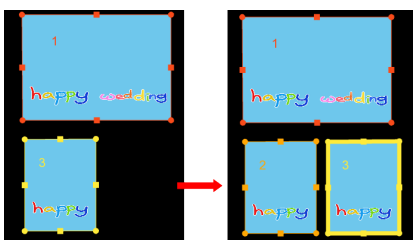
- ① 【設定】ウィンドウの【プレビュー】で動画の表示される範囲を変更します。



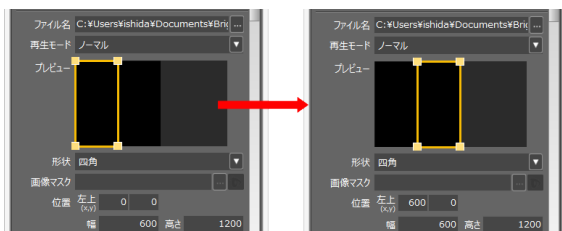
- ② 【FACE】2 のタイムラインの【FACE】No を【Ctrl】を押下しながらドラッグ&ドロップして【FACE】をコピーします。



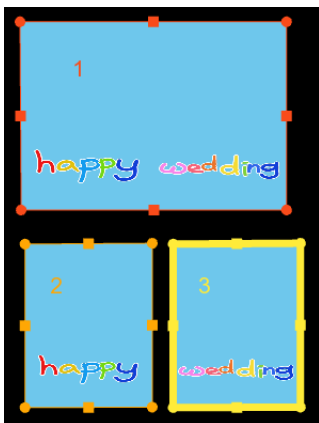
- ③ コピーしてできた【FACE】3 が【FACE】2 と重なっているので位置をずらします。



- ④ 【設定】ウィンドウの【プレビュー】で動画の表示される範囲を変更します。



ITEM を 2 つの FACE に跨ったように表示できました。



10.15. 【ITEM】を他のプロジェクトにコピー&ペーストする

コピーした【ITEM】は他のプロジェクト、またはパッケージに貼り付けることが可能です。

※パッケージ間、パッケージからプロジェクトには出来ません。

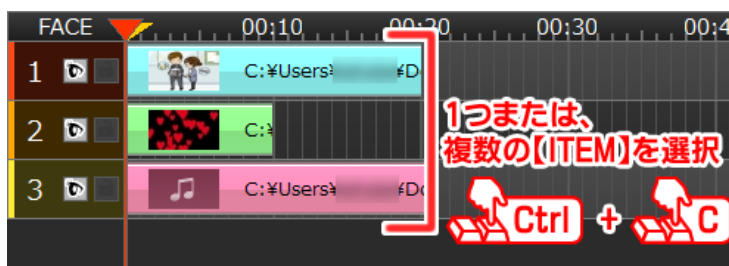
- ① コピーしたい【ITEM】を選択して右クリックメニューより【コピー】を選択してください。



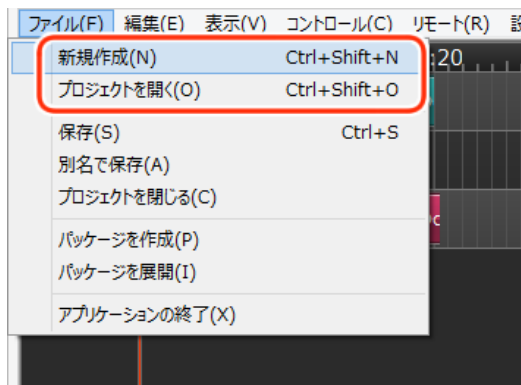
【ITEM】を選択して【編集】メニューよりコピーを選択、



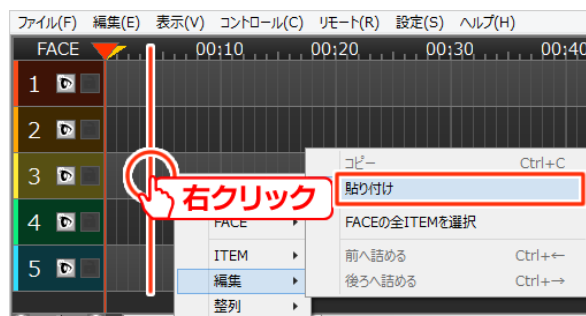
【ITEM】を選択して【Ctrl】キー+【C】キーを押下しても同じ効果です。



- ② 現在開いているプロジェクトを閉じ(必要であれば保存をしてください)、貼り付けをしたいプロジェクトを開きます。



- ③ コピーした【ITEM】の数分の【FACE】を用意し、貼り付けしたい【FACE】の貼り付けしたい【タイム】で右クリックメニューより【編集】>【貼り付け】を選択します。



貼り付けしたい【FACE】を選択し、【タイムカーソル】を貼り付けしたい【タイム】に合わせて【Ctrl】キー+【V】キーを押下しても同じ効果です。



11. 一覧

11.1. マウスカーソルの種類

ITEM の長さ調整	ITEM の長さ調整	ITEM の複製	ITEM のリンク作成	エフェクトの長さ調整

11.2. エフェクトの長さ調整

フェード(IN エフェクト)	透明の状態から徐々に映像が見えている状態に移り変わる
フェード(OUT エフェクト)	映像が見えている状態から徐々に透明の状態に移り変わる

11.3. フィルターの種類

グレースケール	画像を黒、白、白から黒に至る中間色に変換する
ぼかし(ブラー)	ぼんやりとさせる
不透明度	不透明度を調整する
鏡(ミラー)	垂直反転、水平反転する
色調補正	画像全体の色味を変更する、色の鮮やかさや明るさを調整する

11.4. ショートカットキー

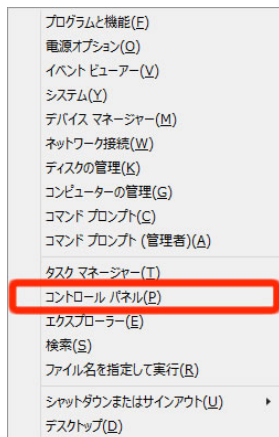
ショートカットキーとは、キーボードを使ってパソコンの操作を簡単に行うための機能です。ショートカットキーを使用すると、効率よく作業を行うことができます。

キー操作	目的
Ctrl + Z	操作を元に戻す
Ctrl + Y	操作をやり直す
Ctrl + Shift + O	プロジェクトを開く
Ctrl + Shift + N	プロジェクトを新規作成する
Ctrl + S	プロジェクトを保存する
Ctrl + ←	選択した ITEM を前に詰める
Ctrl + →	選択した ITEM を後ろに詰める
Ctrl + K	選択した ITEM をタイムラインカーソルの位置で分割する
Ctrl + I	タイムラインカーソルの位置に IN 点を設定する
Ctrl + O	タイムラインカーソルの位置に OUT 点を設定する
Ctrl + C	選択中 ITEM をコピーする
Ctrl + A	FACE を追加する
Ctrl + T	タイムラインカーソルを IN 点の位置に移動する
Ctrl + P	プロジェクターへ映像を投影する
Ctrl + G	【プレビュー】ウィンドウにガイドを表示する
Ctrl + L	IN 点と OUT 点の間を繰り返し再生するモードにする
Ctrl + クリック	ITEM を複数選択する
ドラッグ中 Ctrl	ドロップで ITEM または FACE をコピーする
ドラッグ中 Alt	ドロップでリンク ITEM を作成する
ドラッグ中 Esc	ドラッグをキャンセルする
Delete	選択 ITEM を削除する
BackSpace	選択 ITEM を削除する
→	現在時間を進める
←	現在時間を戻す
Shift + →	現在時間をやや早く進める
Shift + ←	現在時間をやや早く戻す
SPACE	START/PAUSE 切り換える
Alt + マウスホイール	タイムラインの縮尺を変更する

12. 困ったときは

12.1. アンインストールしたい

- ① パソコンの【コントロールパネル】を開いてください。



- ② 【プログラムのアンインストール】を開いてください。

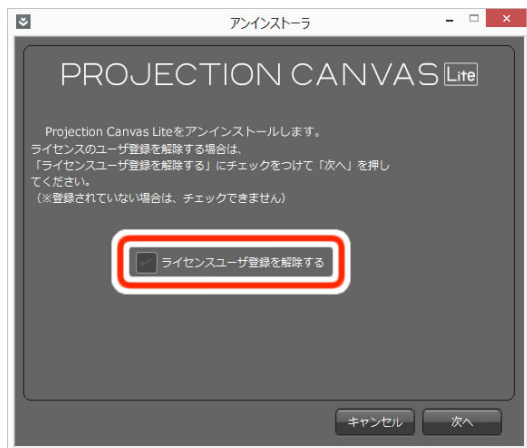


- ③ 【ProjectionCanvas】選択し、【アンインストール】をクリックしてください。Projection Canvas のアンインストーラが起動します。



- ④ 【ライセンスユーザ登録を解除する】にチェックを入れます。ライセンス登録されていない場合は、チェックすることはできません。

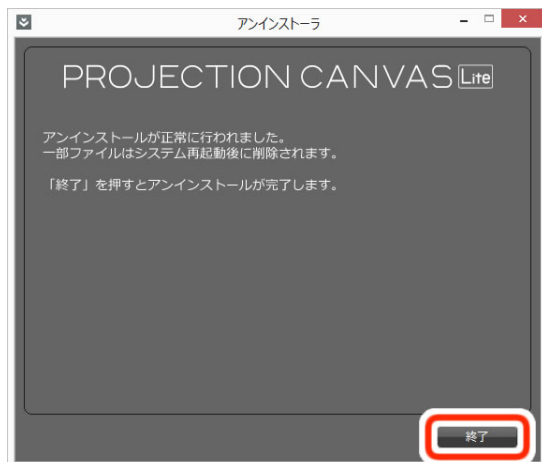
パソコンを替える場合、必ずライセンスの解除を行ってください。ライセンスを解除せずに、他のパソコンにライセンスを登録することはできません。



- ⑤ 【次へ】をクリックしてください。



- ⑥ 【終了】をクリックしてください。アンインストールが終了します。

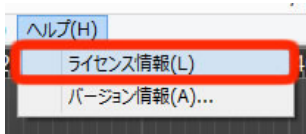


- ⑦ パソコンのドキュメントフォルダ内に【ProjectionCanvas】フォルダがあります。フォルダ内にはサンプルデータとして、動画や静止画、音ファイルがあります。手動で削除してください。

12.2. ライセンス認証(アクティベーション)を解除したい

他のパソコンで Projection Canvas を使う時はアクティベーション解除が必要です。

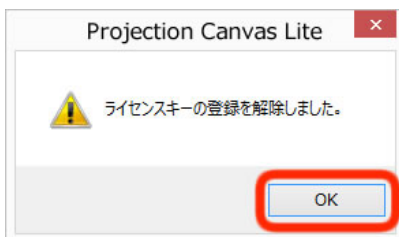
- ① 【タイムライン】ウィンドウの【ヘルプ】メニューから【ライセンス情報】を選択します。



- ② 【解除】ボタンをクリックすると、アクティベーションが解除されます。



- ③ 【OK】ボタンをクリックします。

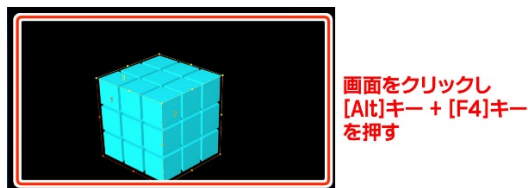


- ④ 【終了】ボタンをクリックします。

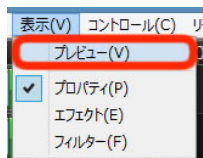


12.3. プレビューが画面いっぱいに表示され操作できない

画面をクリックして、【Alt】キーと【F4】キーを押すと画面が閉じます。



再度【プレビュー】ウィンドウを表示する場合は、【表示】メニューから【プレビュー】を選択してください。



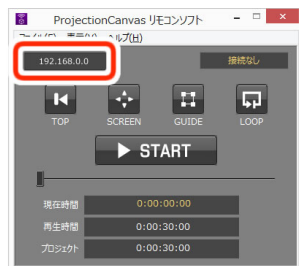
12.4. 再生時に音が遅れる

特定の形式の MP4 ファイルは再生時に音声が遅れることがあります。予めご了承ください。

12.5. 【リモコンソフト】に接続できない

下記の事項をご確認ください。

- ① ネットワークケーブルがパソコンに接続されているかご確認ください。
- ② 【リモコンソフト】を起動しているパソコンの IP アドレスが正しく指定されているかご確認ください。
親機の IP アドレスをご確認ください。親機の IP アドレスは、Projection Canvas を起動し、【リモート】メニューの【ホスト起動】を選択します。リモコンソフトの左上に IP アドレスが表示されています。



【リモコンソフト】に接続するパソコンでリモート接続設定が必要です。

Projection Canvas を起動し、【設定】メニューの【各種設定】を選択します。【リモート】タブを確認し、先ほど確認した、IP アドレスを入力します。



接続ができるかお試しください。

- ③ セキュリティソフトによって、通信が制限されていないかご確認ください。
- Projection Canvas ではポート番号 8213 を使用して、リモコンソフトとの通信を行います。
- Projection Canvas の通信を許可するか、ポート番号 8213 の通信を許可してください。
- 設定方法はお使いのセキュリティソフトのマニュアル等を参照ください。

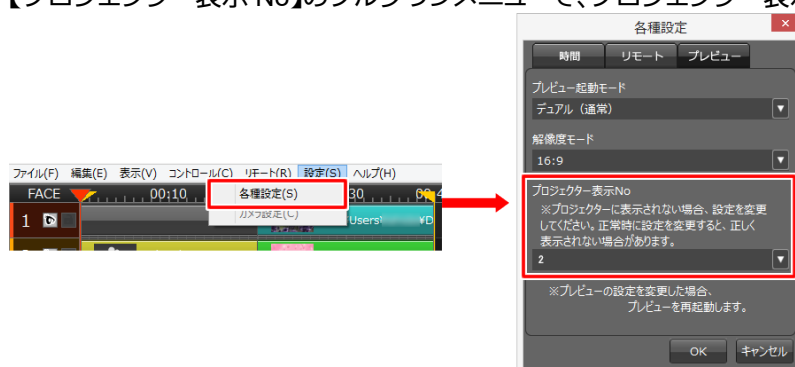
12.6. 【プレビュー】ウィンドウが起動しない

一度 Projection Canvas を閉じて、【Shift】キーを押しながら Projection Canvas のショートカットアイコン (またはアイコン) をダブルクリックして起動してください。

12.7. プロジェクターに投影されない

【SCREEN】ボタンを押してもプロジェクターに投影されない場合、次の方法をお試しください。

- ① パソコンとプロジェクターが正しく接続されているかを確認してください。
- 詳しくは、[「5.1.1PC のディスプレイ設定」](#)を参照してください。
- ② 【設定】の【各種設定】を選択して【各種設定】ウィンドウを表示してください。
- 【プロジェクター表示 No】のプルダウンメニューで、プロジェクター表示 No を変更してください。



13. 改訂履歴

版数	作成日	改訂内容
1.0 版	2015/01	初版を作成
1.1 版	2015/03	一部詳細追加
1.2 版	2017/02	「10.困ったときは」追加
1.3 版	2020/02	PC のディスプレイ設定方法を追加
1.4 版	2020/06	「3.インストールしてみましょう」に詳細追加

